

邑楽町町民アンケート調査報告書

令和6年9月

= 目次 =

I 調査概要.....	1
1.調査目的.....	2
2.調査内容.....	2
3.集計結果の見方.....	2
II 調査結果.....	3
1.回答者のプロフィール.....	4
2.邑楽町のイメージや住みごちについて.....	8
3.邑楽町の最近の取り組みについて.....	12
4.邑楽町の取り組みの満足度・重要度.....	15
5.人口減少・高齢化対策について.....	27
6.SDG s の取り組みについて.....	29
7. I C T の利活用について.....	31
8.これからの邑楽町のまちづくりについて.....	36

I 調査概要

1.調査目的

本調査は、「邑楽町第七次総合計画」「第3期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略」「第六次邑楽町行政改革大綱」の3計画を一体化した、本町の最重要計画を策定するにあたり、行政施策における町民の意識の現状を把握するとともに、今後の行政運営の基礎資料として活用することを目的として町民アンケート調査を実施したものです。

2.調査内容

- ① 調査対象 邑楽町内 2,000 人（邑楽町在住の 18 歳以上の方から無作為抽出）
- ② 調査方法 郵送配布・回収（WEB フォームによる回答を併用）
- ③ 調査期間 令和 6 年 7 月～ 8 月
- ④ 回収結果 有効回収数 632 票（郵送回答 515、WEB 回答 117） 回収率 31.6%

3.集計結果の見方

- 設問の中には前問に答えた人のみが答えるなどの「条件付き限定設問」があり、それらの回答者数は、全体の回答者数より少なくなっています。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- 各設問の母数とすべき実数（対象者総数あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）は「n」と表記しています。
- 設問の条件（選択肢の数など）に合致しない回答は集計から除外しています。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。

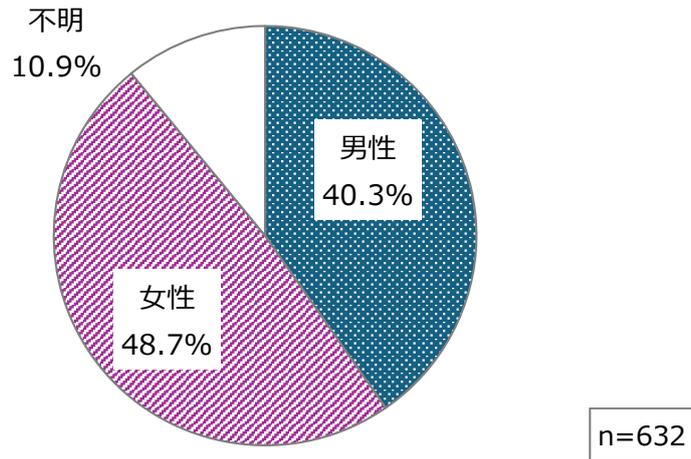
II 調査結果

1.回答者のプロフィール

(1)性別

性別は「男性」が40.3%、「女性」が48.7%で女性がやや高くなっています。

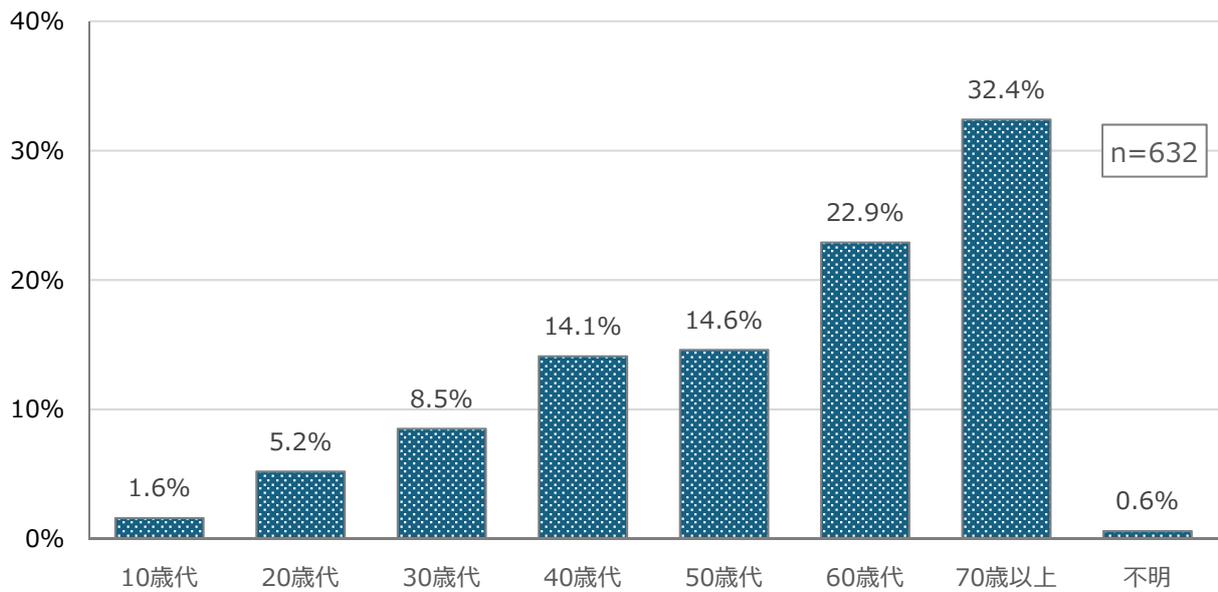
図表 1：性別



(2)年齢

年齢は「70歳以上」が32.4%で最も高く、次いで「60歳代」が22.9%となっており、回答者の過半数が60歳以上となっています。

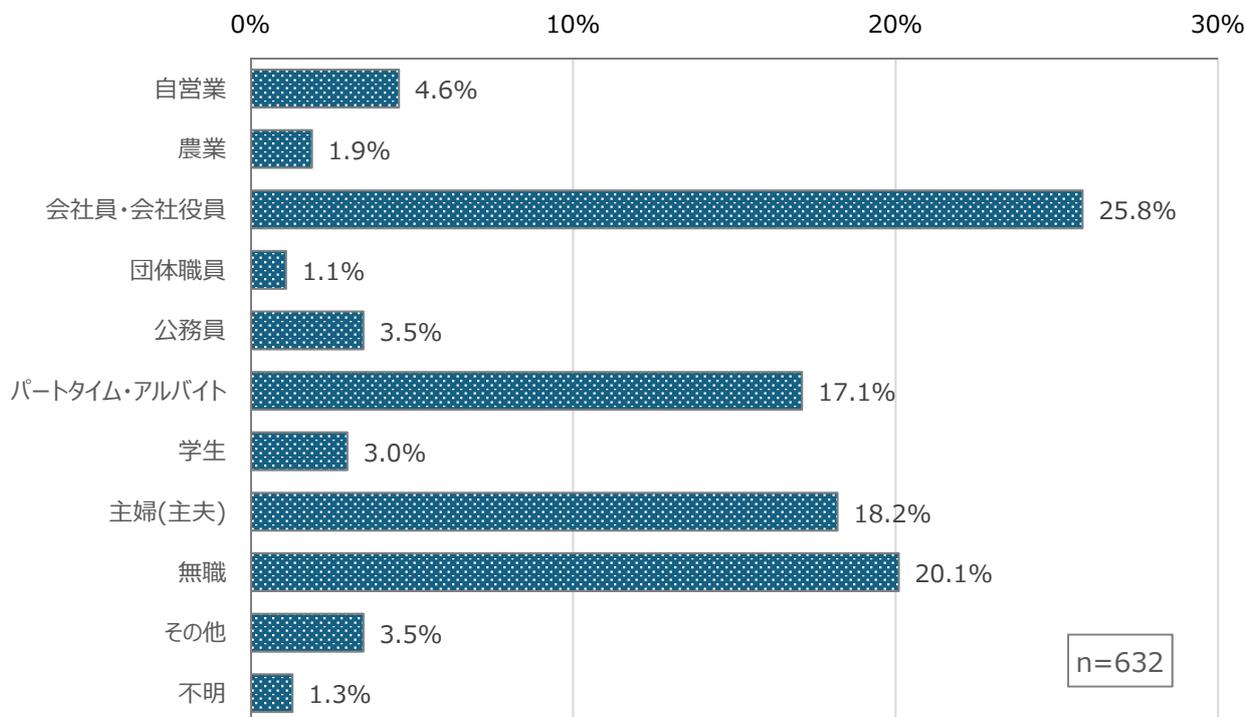
図表 2：年齢



(3)職業等

職業等は「会社員・会社役員」が 25.8%で最も高く、次いで「無職」(20.1%)、「主婦(主夫)」(18.2%)、「パートタイム・アルバイト」(17.1%)となっています。

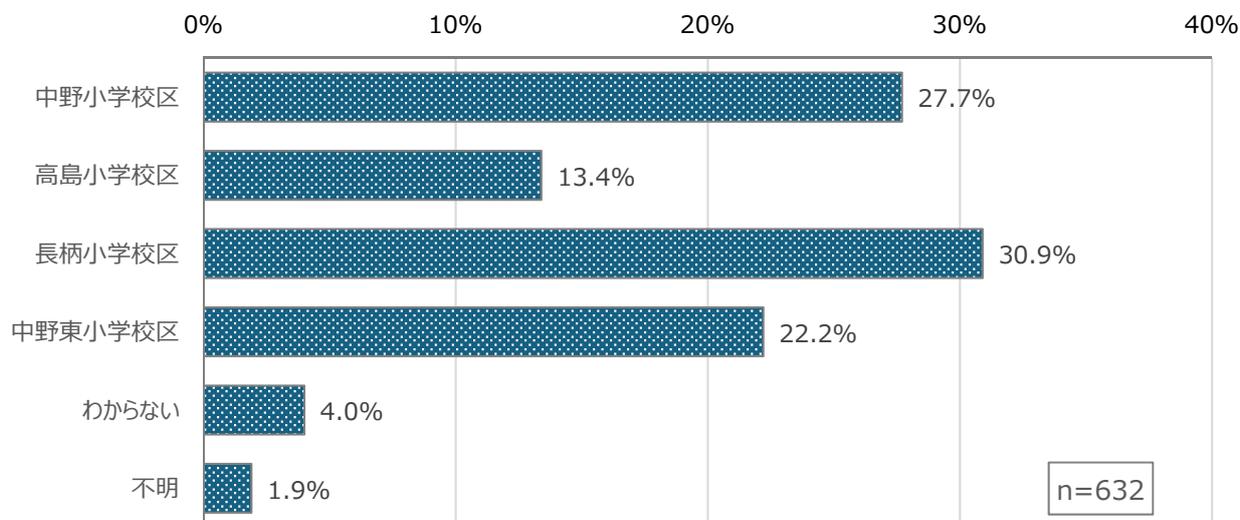
図表 3：職業等



(4)現在お住まいの小学校区

「長柄小学校区」が 30.9%で最も高く、次いで「中野小学校区」が 27.7%となっています。

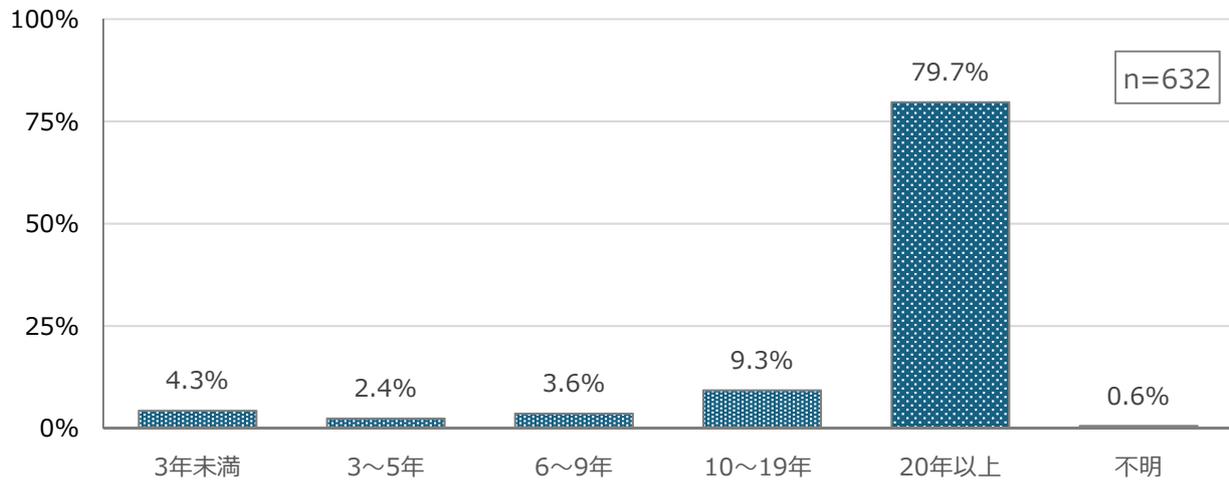
図表 4：お住まいの小学校区



(5) 邑楽町での居住年数

「20年以上」が79.7%とほぼ8割と高くなっています。これに「10～19年」の9.3%が続いていますが1割以下と少なくなっています。

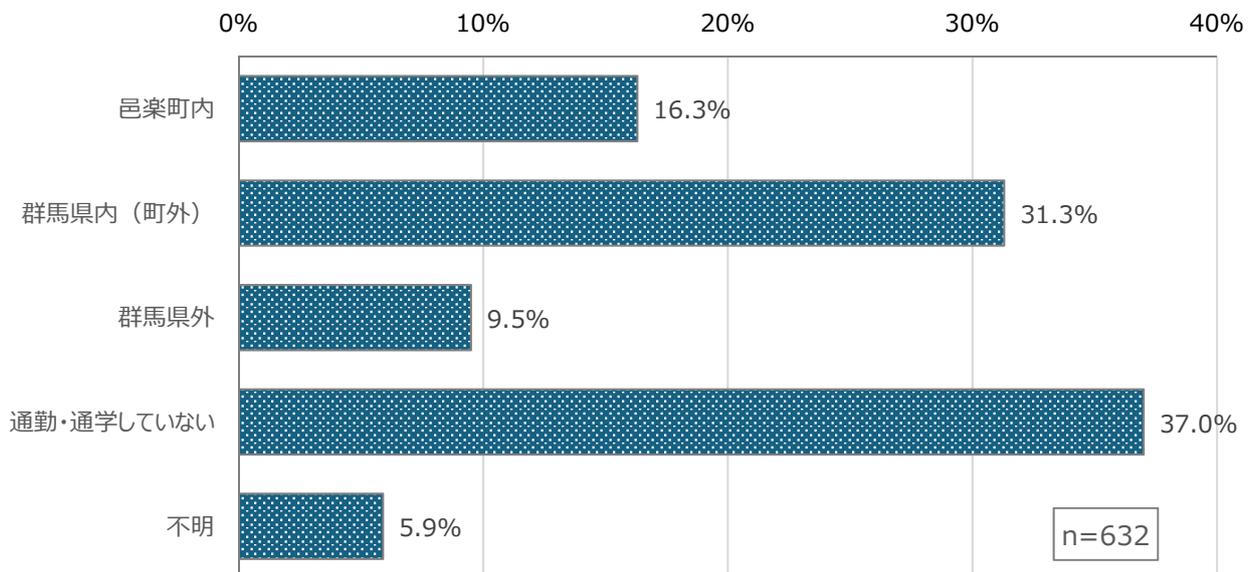
図表 5： 邑楽町での居住生活



(6) 勤務先・通学先

通勤先・通学先は「群馬県内（町外）」が31.3%で高くなっており、「邑楽町内」は16.3%となっています。なお、最も高いのは「通勤・通学していない」の37.0%となっています。

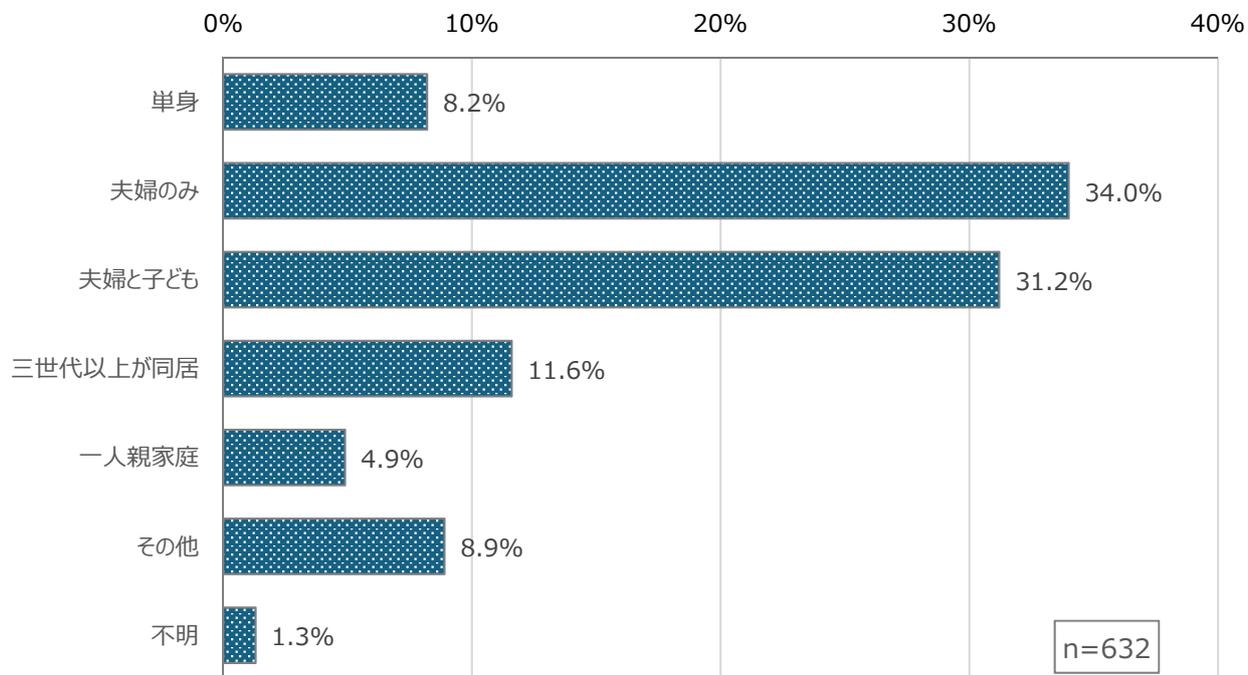
図表 6： 通勤先・通学先



(7) 家族構成

「夫婦のみ」が34.0%、「夫婦と子ども」が31.2%で、この2項目が高くなっています。

図表 7：家族構成

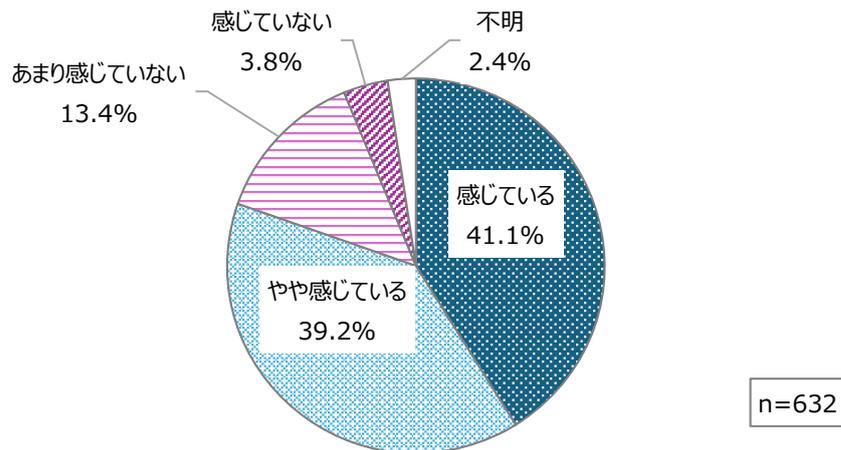


2. 邑楽町のイメージや住みごころについて

(1) 邑楽町への愛着や親しみ

邑楽町への愛着や親しみについては「感じている」が41.1%、「やや感じている」が39.2%で、合計8割が愛着や親しみを感じていることがわかります。

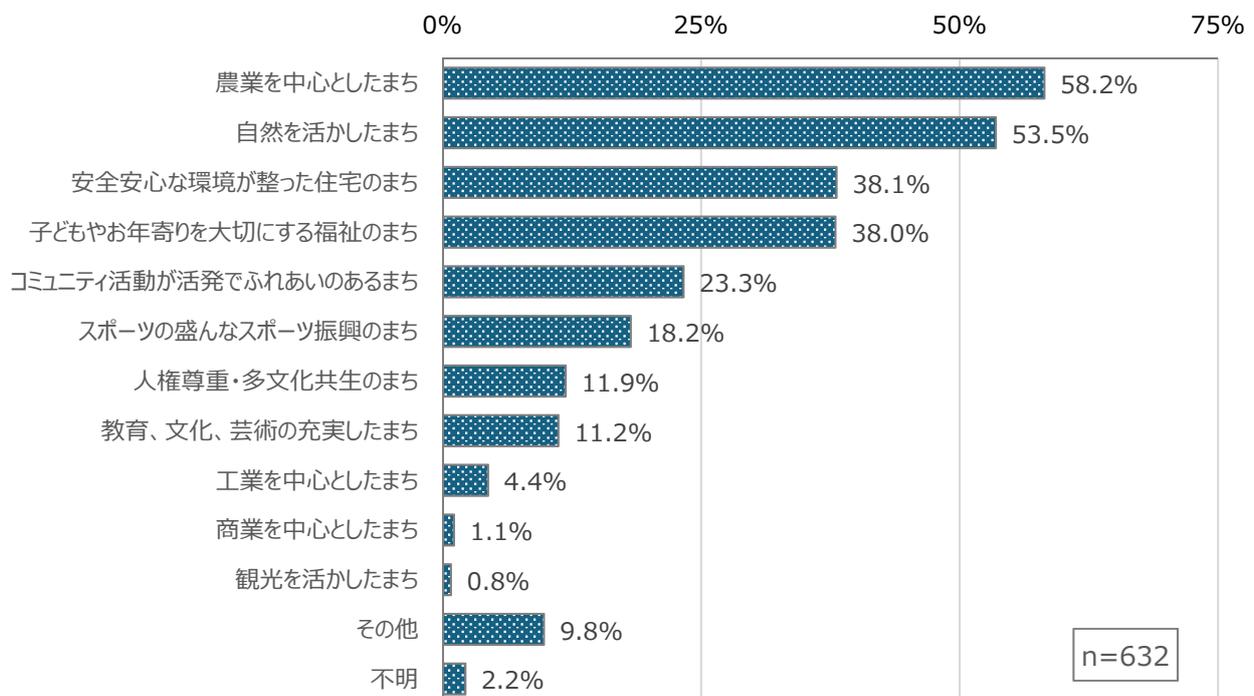
図表 8：問2 あなたは、邑楽町に愛着や親しみをどの程度感じていますか



(2) 現在の邑楽町のイメージ

「農業を中心としたまち」が58.2%で最も高く、次いで「自然を活かしたまち」53.5%となっており、この2項目が過半数となっています。

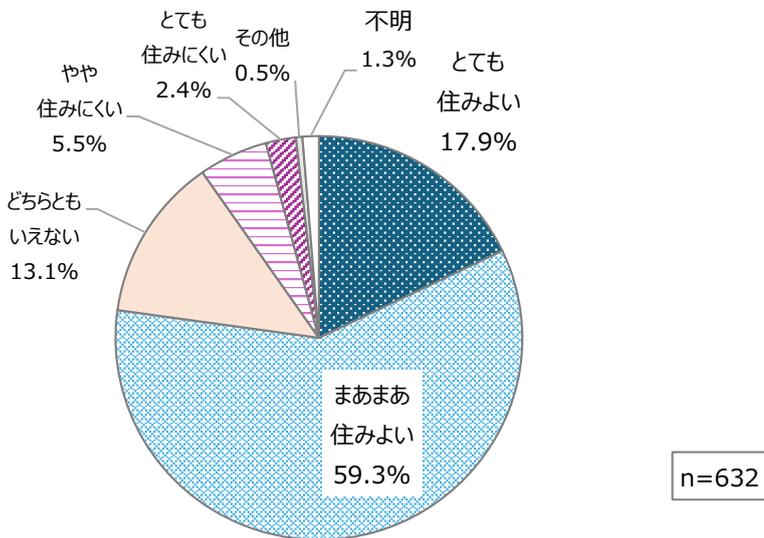
図表 9：問3 あなたは、現在の邑楽町のイメージをどのように感じていますか



(3) 邑楽町の住みやすさ

「まあまあ住みよい」59.3%、「とても住みよい」が17.9%で、全体の3/4以上が住みよいと感じています。

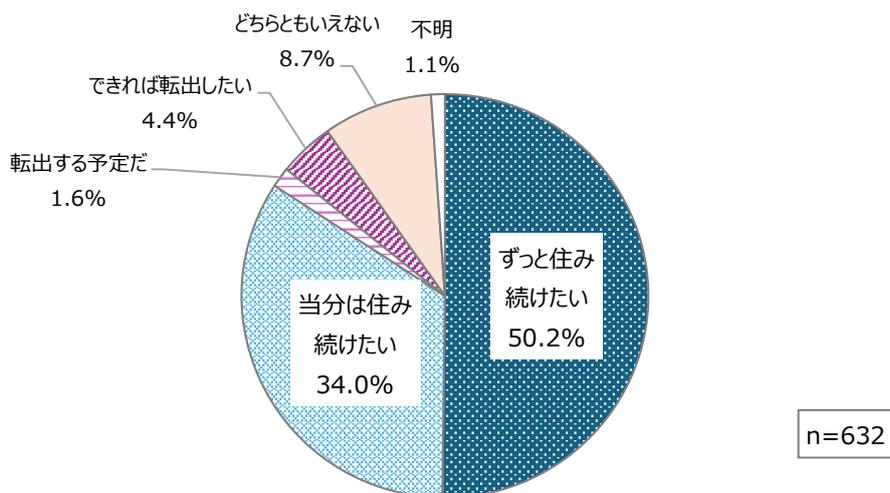
図表 10：問4 あなたは、邑楽町は住みよいと感じていますか



(4) 邑楽町での居住継続意向

「ずっと住み続けたい」が50.2%で半数を占めています。次いで「当分は住み続けたい」が34.0%で高く、合計すると8割以上が邑楽町に住み続けたいと考えています。

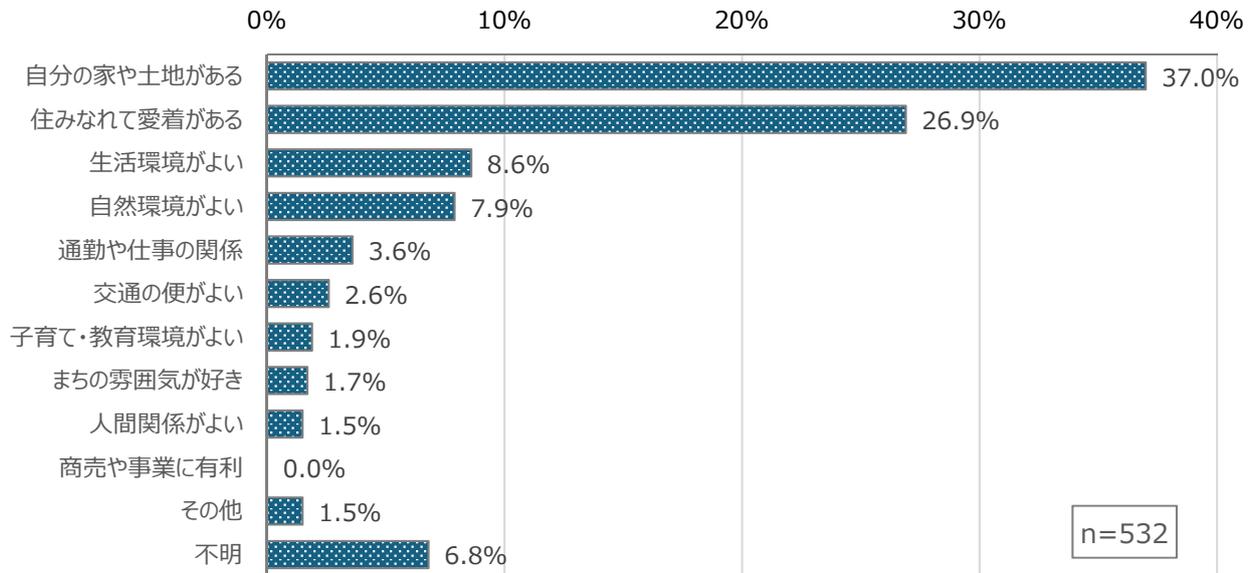
図表 11：問5 あなたは、これからも邑楽町に住み続けたいと思いますか



(5) 住み続けたいと回答した理由

邑楽町に「ずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」と回答した 532 人を対象として、その理由を質問しています。その結果をみると「自分の家や土地がある」が 37.0%で最も高く、次いで「住みなれて愛着がある」が 26.9%となっています。これ以下の項目はいずれも 1 割以下と少なくなっています。

図表 12：住み続けたいと回答した理由

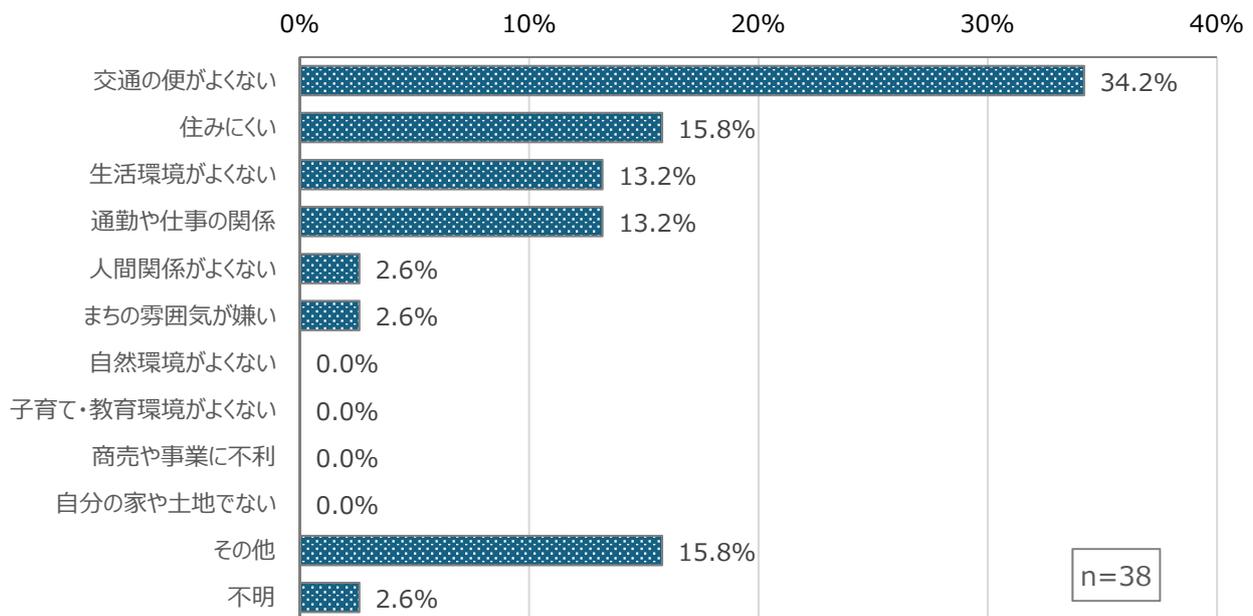


(6) 転出したいと回答した理由

邑楽町から「転出する予定だ」、「できれば転出したい」と回答した 38 人を対象として、その理由を質問しています。その結果をみると「交通の便が良くない」が 34.2%で最も高くなっています。

「その他」は、「車がないと生活できない」「特に住み続ける理由がない」などでした。

図表 13：転出したいと回答した理由



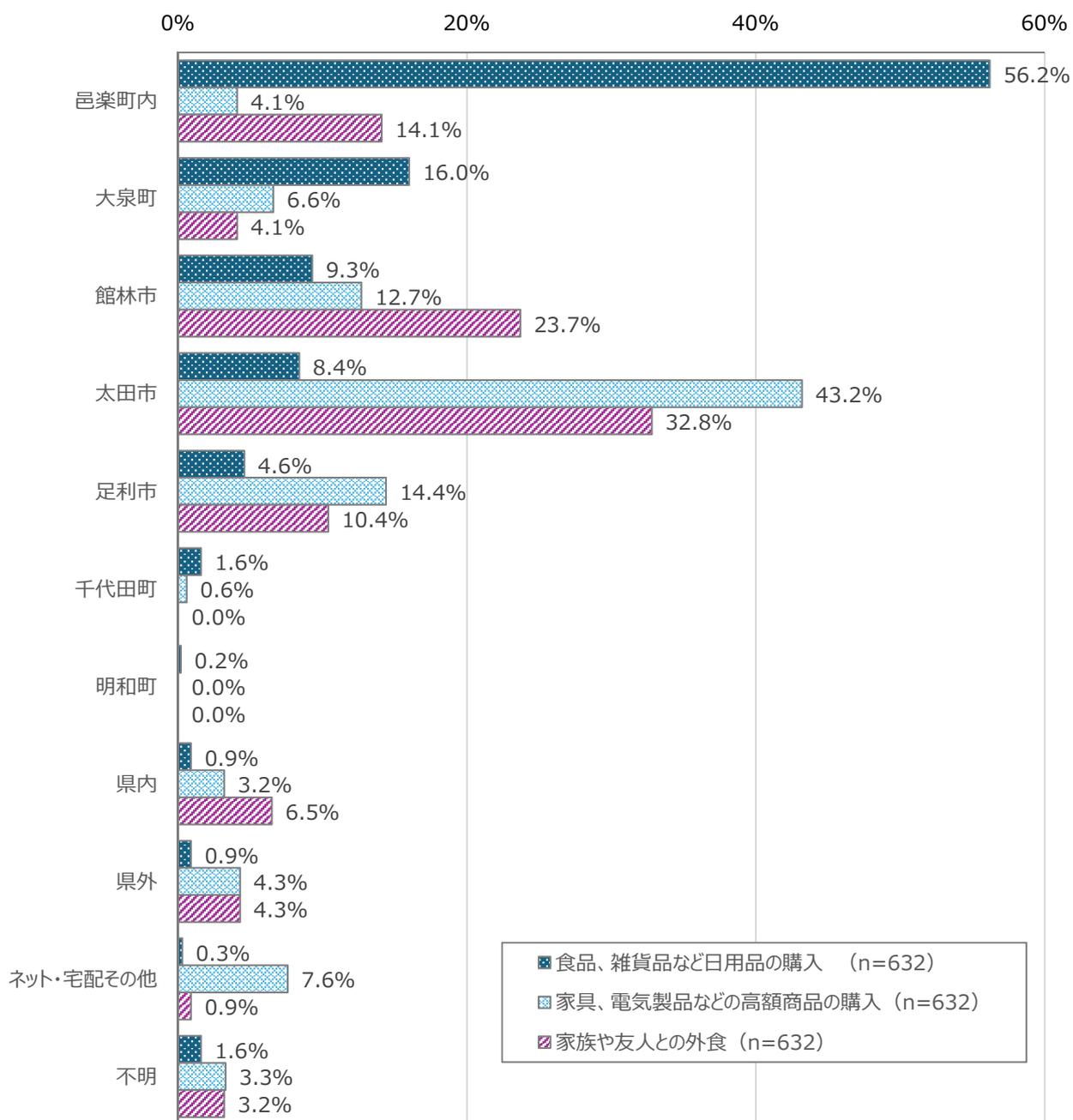
(7) 買い物や外食をする場所

「食品、雑貨品などの日用品の購入」は「邑楽町内」が56.2%で最も高くなっています。

「家具、電気製品などの高額商品の購入」は「太田市」が43.2%で高く、「邑楽町内」は4.1%と低くなっています。

「家族や友人との外食」では、「太田市」が32.8%で最も高く、次いで「館林市」が23.7%、「邑楽町」は14.1%で3番目となっています。

図表 14：買い物や外食をする場所



3. 邑楽町の最近の取り組みについて

(1) 最近の取り組みの認知（図表：15）

「知っている」の割合が高い項目は「⑩『おうら祭り』や『おうらスポーツフェスティバル』などのイベント開催」が94.3%で最も高く、次いで「①地域通貨『コハクペイ』の導入」が89.6%となっています。このほか、「⑨国道354号沿いの農産物直売所等の生活拠点整備」79.0%、「⑱町内循環バスの運行（公共交通の充実）」76.3%、「⑦各種証明書のコンビニ交付」74.1%なども認知度が高いといえます。

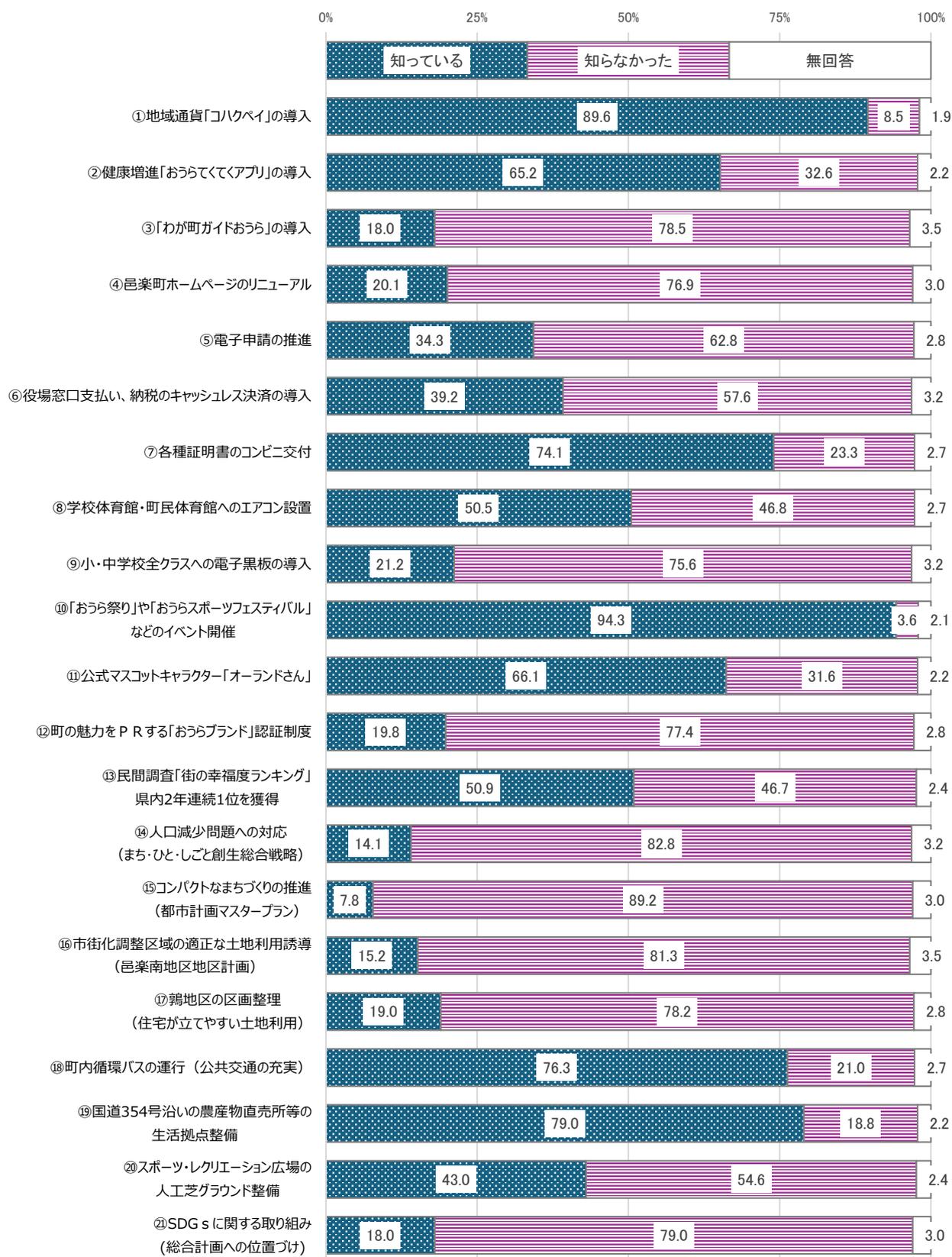
(2) 最近の取り組みの評価（図表：16）

この質問は、取り組みの認知に関わらず質問しています。

「効果あり」の割合が高い項目は「⑧学校体育館・町民体育館へのエアコン設置」で46.4%、次いで「⑩『おうら祭り』や『おうらスポーツフェスティバル』などのイベント開催」が39.4%、「①地域通貨『コハクペイ』の導入」が35.6%となっています。

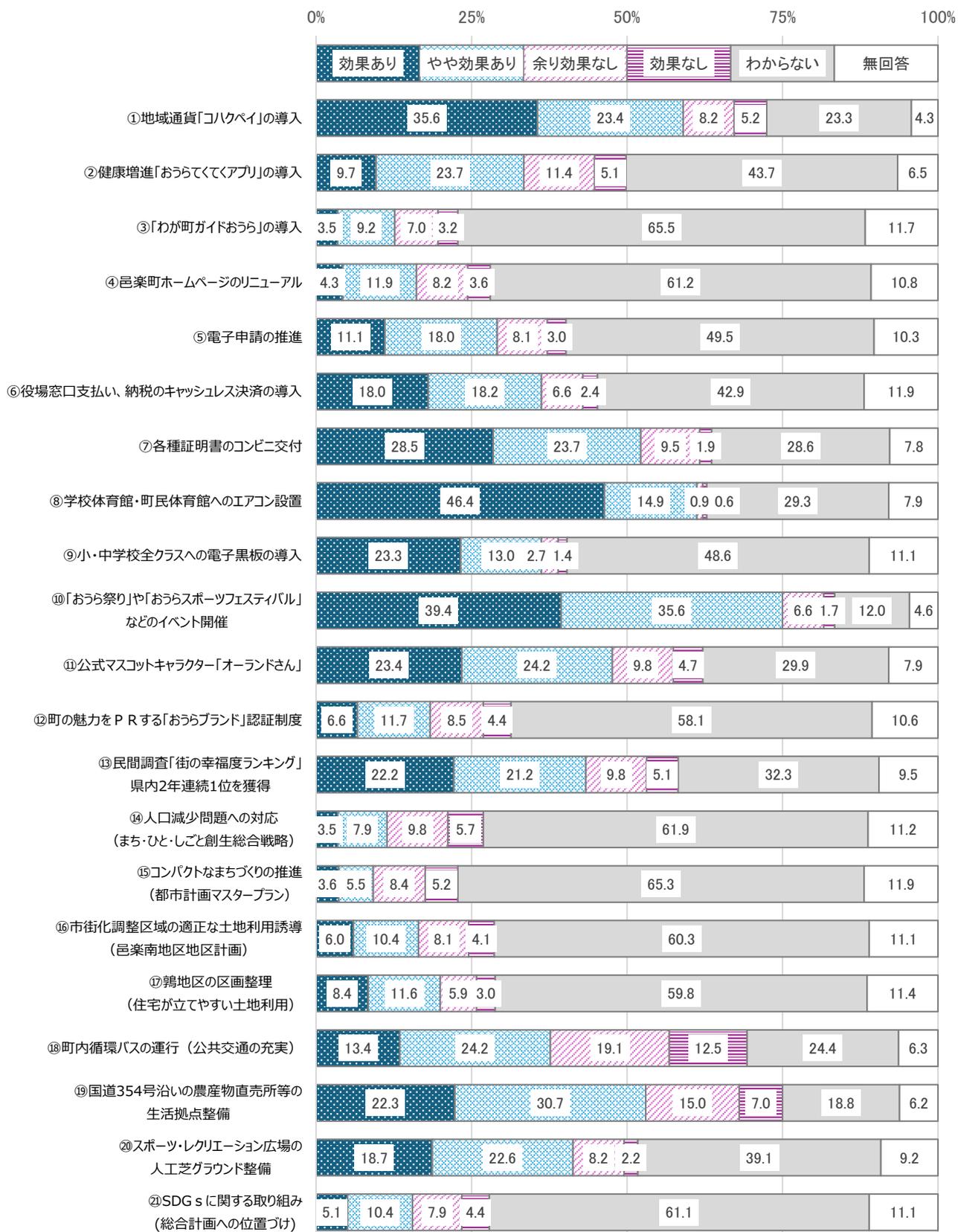
一方、「⑱町内循環バスの運行（公共交通の充実）」「⑨国道354号沿いの農産物直売所等の生活拠点整備」の2項目は「効果あり」と評価する意見が一定数あるものの、「効果なし・余り効果なし」という意見もそれぞれ2～3割程度みられました。

図表 15：問8 あなたは、最近の邑楽町の取り組みを知っていますか



図表 16：問8 あなたは、最近の邑楽町の取り組みを知っていますか。

また、それぞれの取り組みの評価をお聞かせください



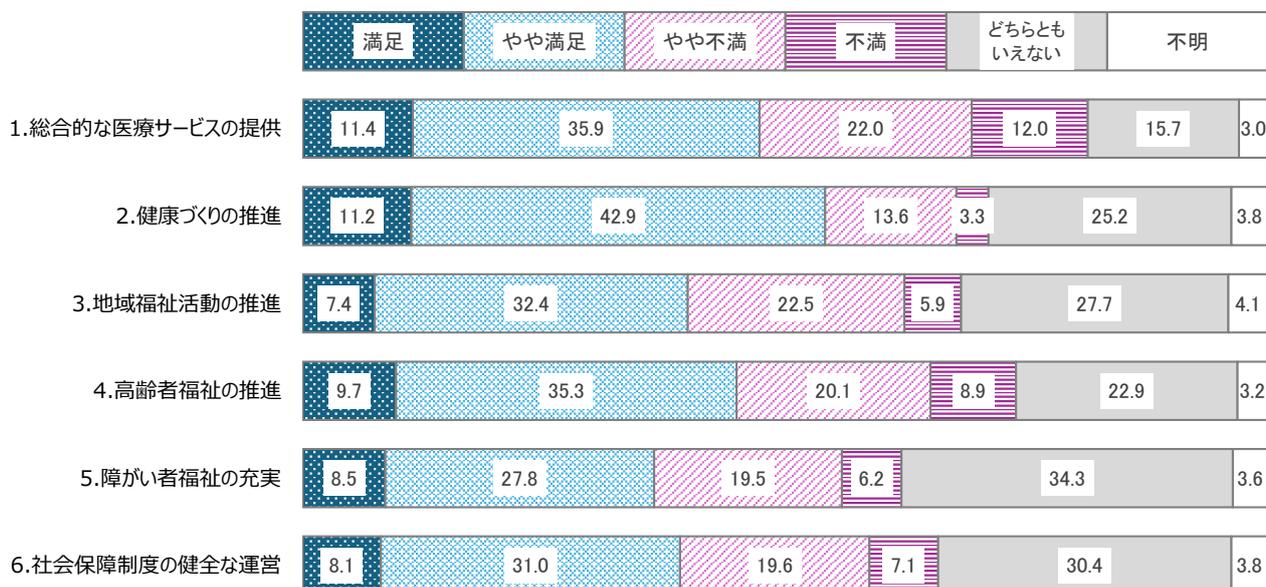
4. 邑楽町の取り組みの満足度・重要度

(1) 健康福祉分野

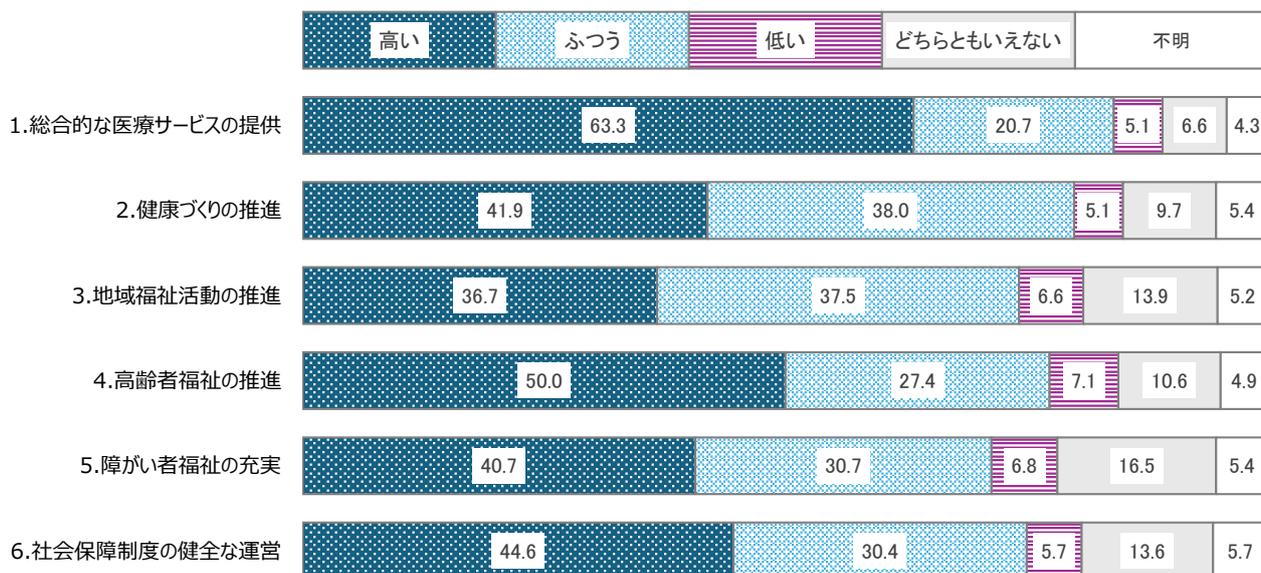
満足度で「満足」が最も高いのは「1. 総合的な医療サービスの提供」の11.4%、「やや満足」を含めた割合では「2. 健康づくりの推進」で「満足」が11.2%、「やや満足」が42.9%で、合計54.1%で最も高くなっています。

重要度では「1. 総合的な医療サービスの提供」で「高い」が63.3%で最も高くなっています。

図表 17：健康福祉分野・満足度（単位：％）



図表 18：健康福祉分野・重要度（単位：％）

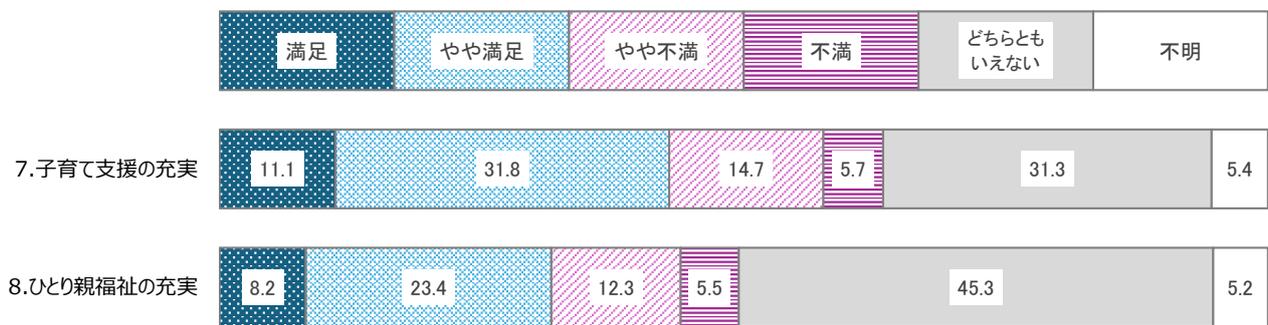


(2)子育て分野

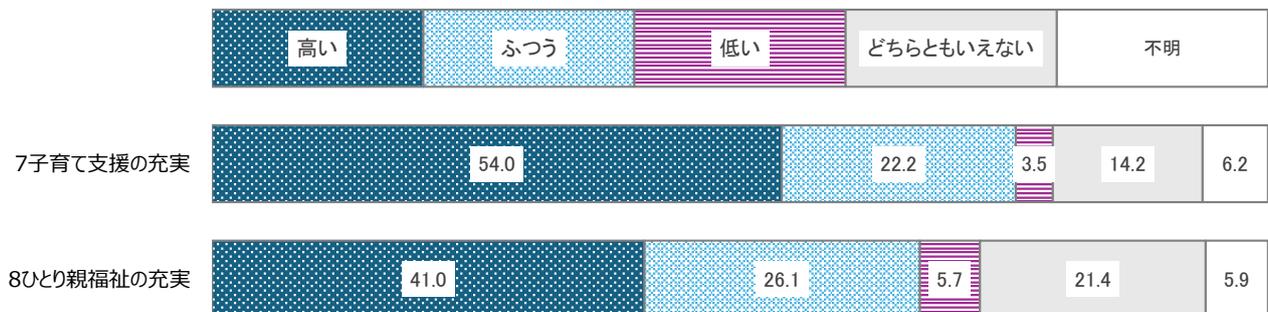
満足度では、「7.子育て支援の充実」、「8.ひとり親福祉の充実」のいずれも「満足」+「やや満足」の割合で半数以下の割合ですが、いずれも「不満」+「やや不満」の割合を上回っています。また、いずれも「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

重要度では「7.子育て支援の充実」、「8.ひとり親福祉の充実」いずれも重要度が高くなっています。「7.子育て支援の充実」では「高い」だけで54.0%と過半数となっており、「8.ひとり親福祉の充実」でも41.0%と高くなっています。なお、「8.ひとり親福祉の充実」では「どちらともいえない」が21.4%とやや高くなっています。

図表 19：子育て分野・満足度（単位：％）



図表 20：子育て分野・重要度（単位：％）

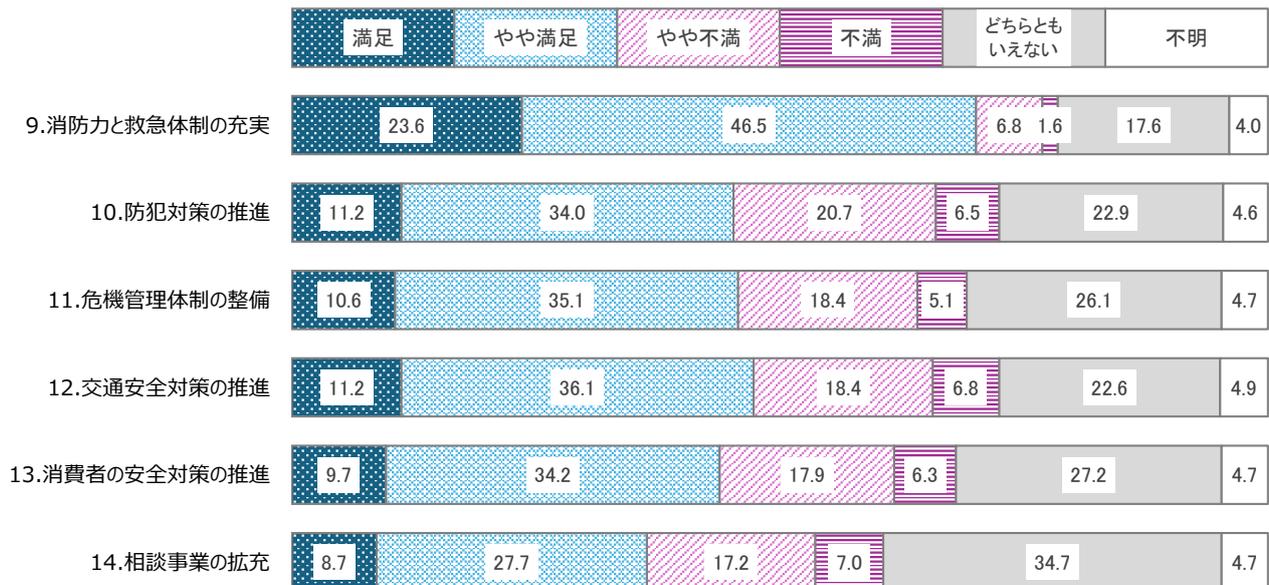


(3)安全・安心分野

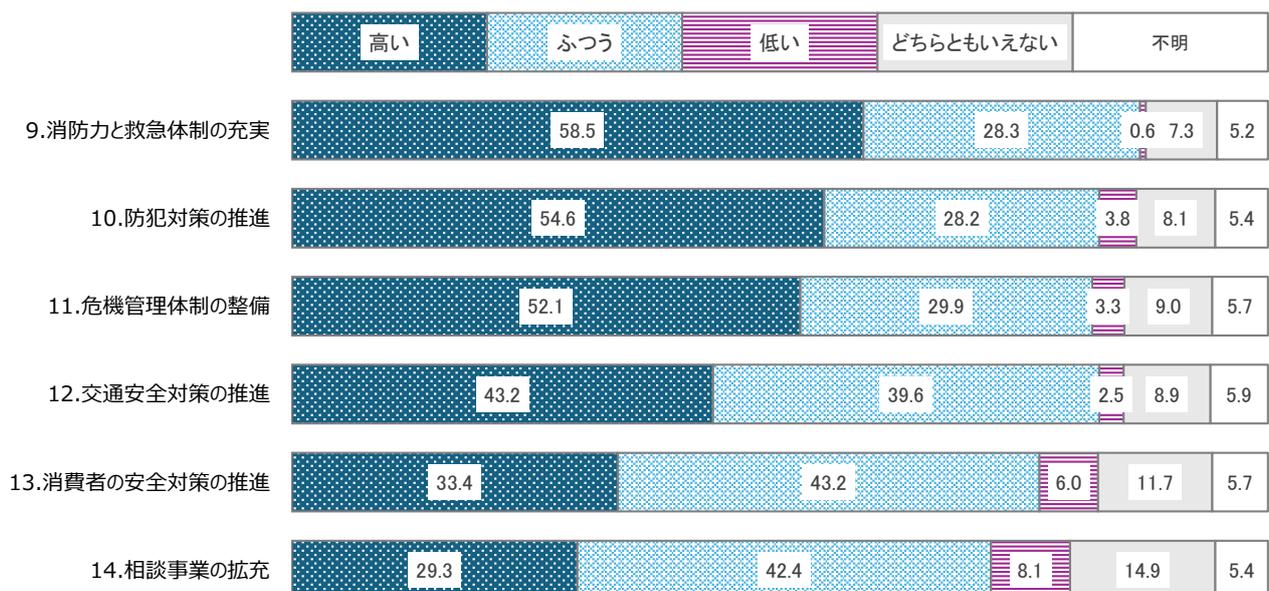
満足度では、「9.消防力と救急体制の充実」で「満足」が23.6%、「やや満足」が46.5%と他の項目と比較して満足度が高くなっています。

重要度では「9.消防力と救急体制の充実」、「10.防犯対策の推進」、「11.危機管理体制の整備」で「高い」がそれぞれ58.5%、54.6%、52.1%と過半数で高くなっています。

図表 21：安全・安心分野・満足度（単位：％）



図表 22：安全・安心分野・重要度（単位：％）

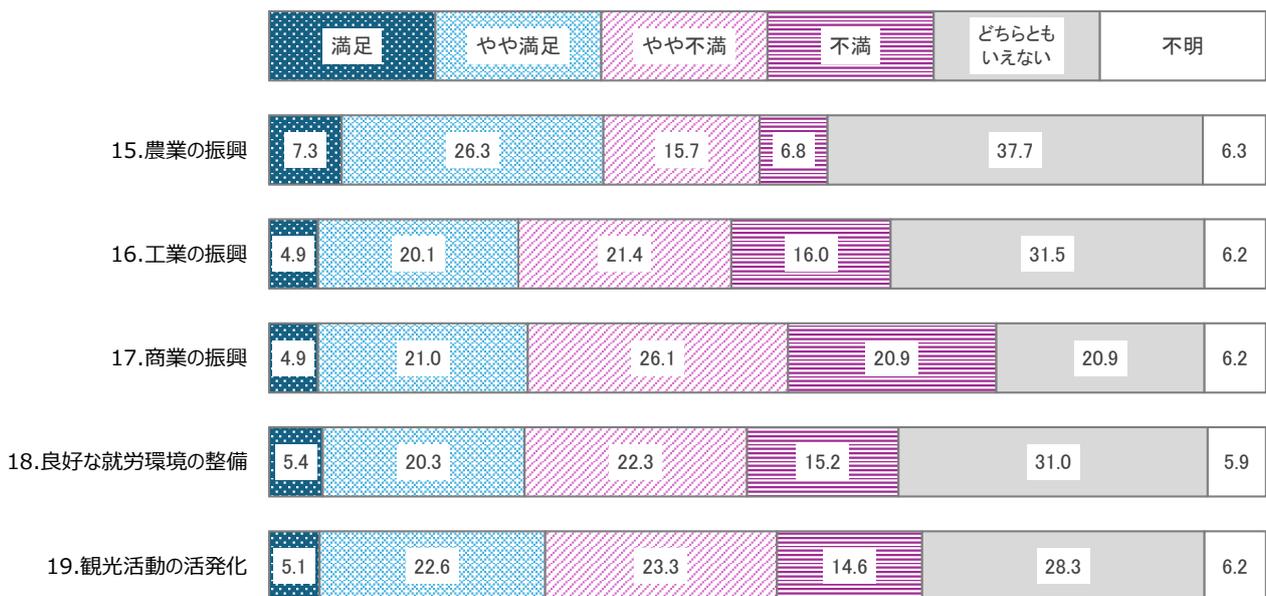


(4)産業振興分野

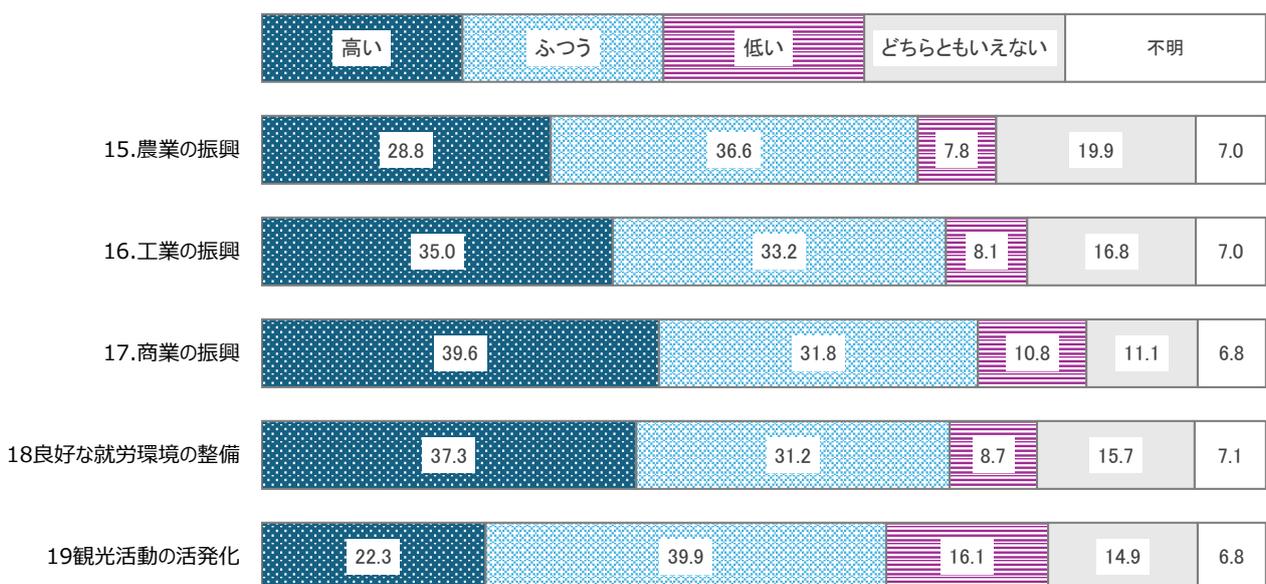
満足度はいずれも低く、「満足」+「やや満足」の合計をみても最も高い「15.農業の振興」で33.6%と1/3程度にとどまっています。

重要度では「17.商業の振興」で「高い」が39.6%と最も高く、「ふつう」の31.8%を合計した割合でも最も高くなっています。

図表 23：産業振興分野・満足度（単位：％）



図表 24：産業振興分野・重要度（単位：％）

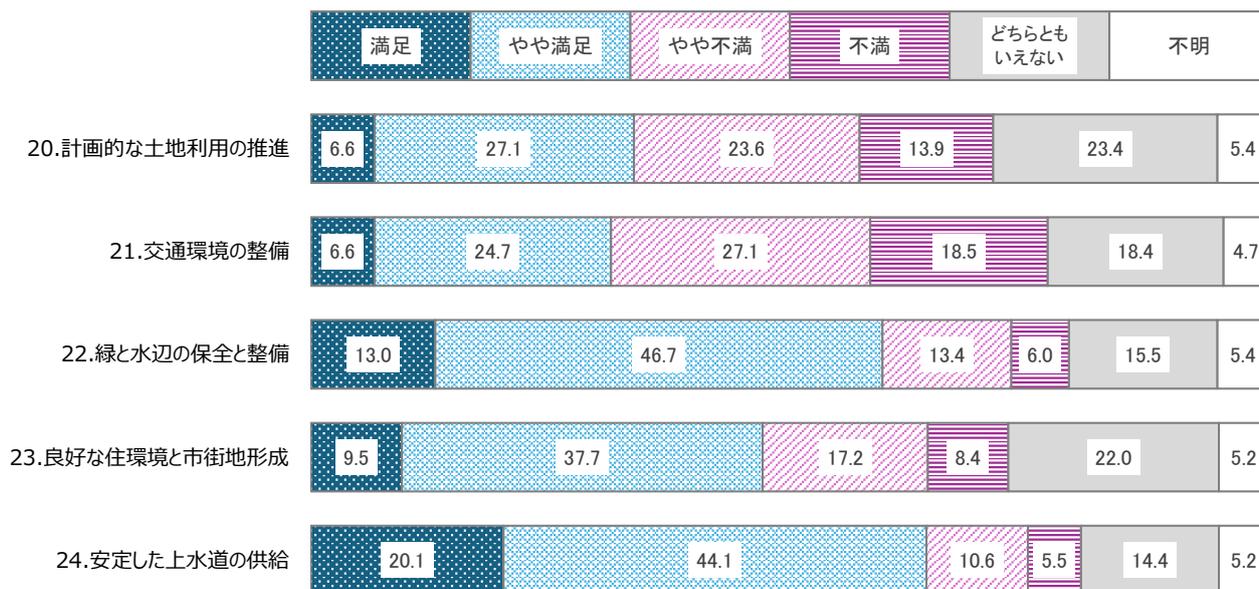


(5)都市基盤分野

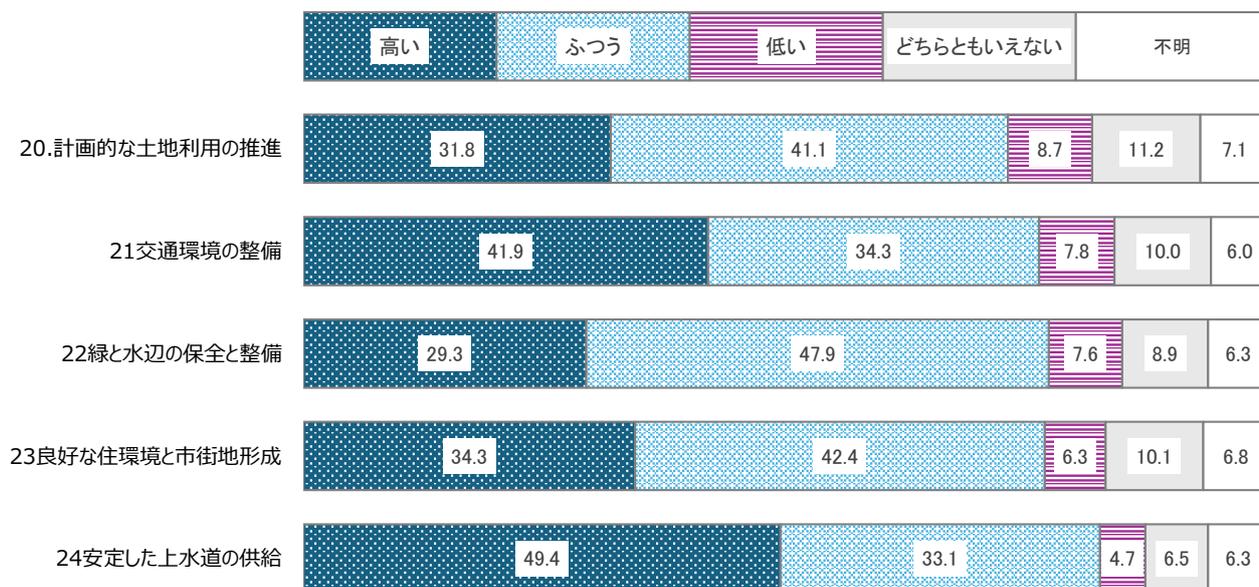
満足度では、「24.安定した上水道の供給」で「満足」が20.1%で最も高く「やや満足」の44.1%を合計すると6割以上となっています。次いで「22. 緑と水辺の保全と整備」が高くなっています。

重要度では「24.安定した上水道の供給」が「高い」で49.4%と最も高くなっています。また「21.交通環境の整備」も重要度が高くなっています。

図表 25：都市基盤分野・満足度（単位：％）



図表 26：都市基盤分野・重要度（単位：％）

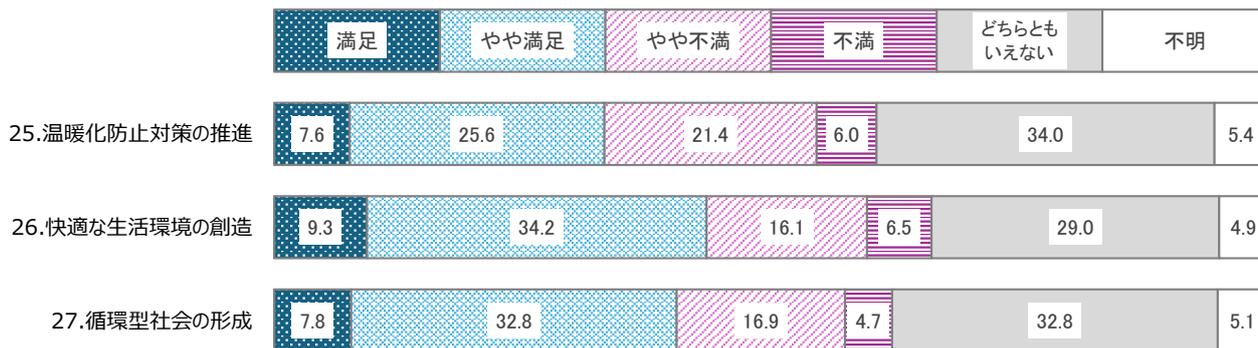


(6)環境分野

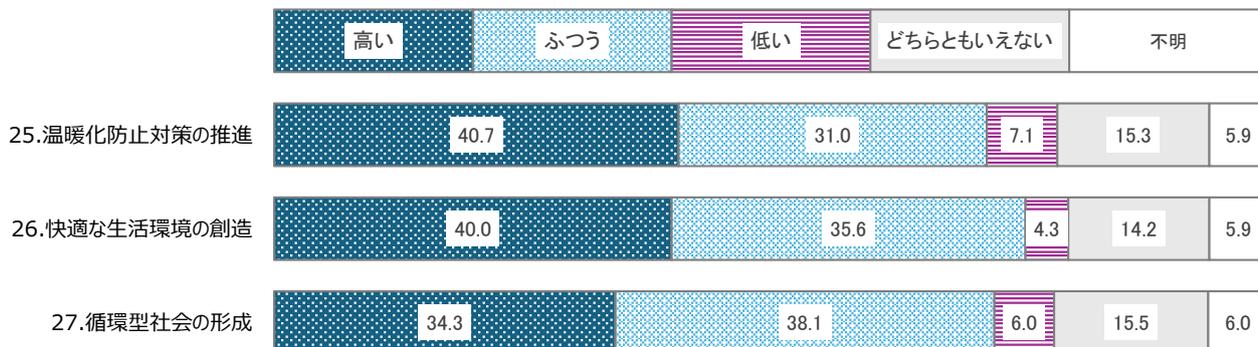
満足度では、3項目のいずれも「どちらともいえない」が高くなっています。3項目とも「満足」は1割以下と低く、重要度が高いわりに満足度が低い様子が見られます。

重要度は「25.温暖化防止対策の推進」と「26.快適な生活環境の創造」で「高い」がそれぞれ40.7%、40.0%と高くなっています。

図表 27：環境分野・満足度（単位：％）



図表 28：環境分野・重要度（単位：％）

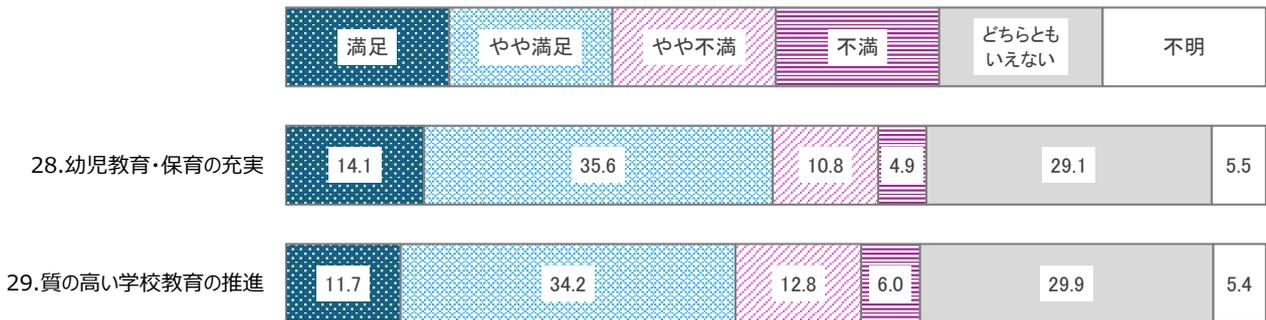


(7)教育分野

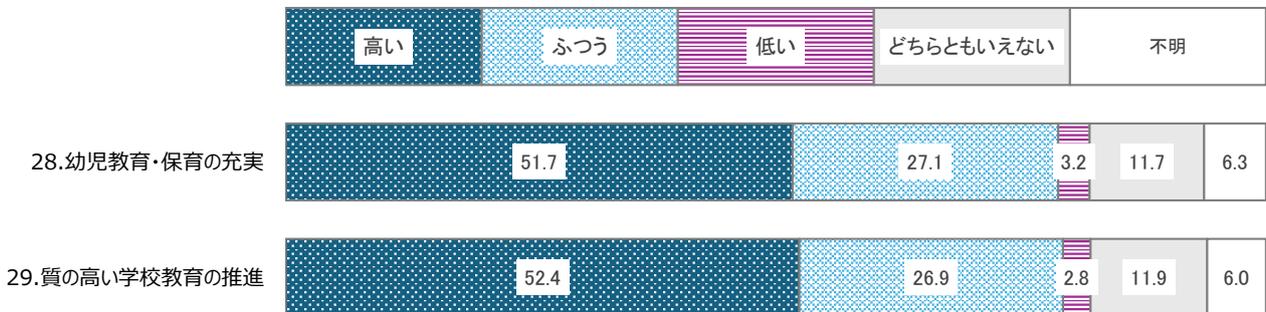
満足度では、「28. 幼児教育・保育の充実」で「満足」が 14.1%、「やや満足」は 35.6%で合計すると半数近くなっています。「どちらともいえない」が 29.1%と高くなっていることを考えると満足度は低いといえます。「29.質の高い学校教育の推進」も満足度はやや低いものの、同じ傾向となっています。

重要度では、いずれの項目も「高い」が過半数と重要度は高くなっています。

図表 29：教育分野・満足度（単位：％）



図表 30：教育分野・重要度（単位：％）

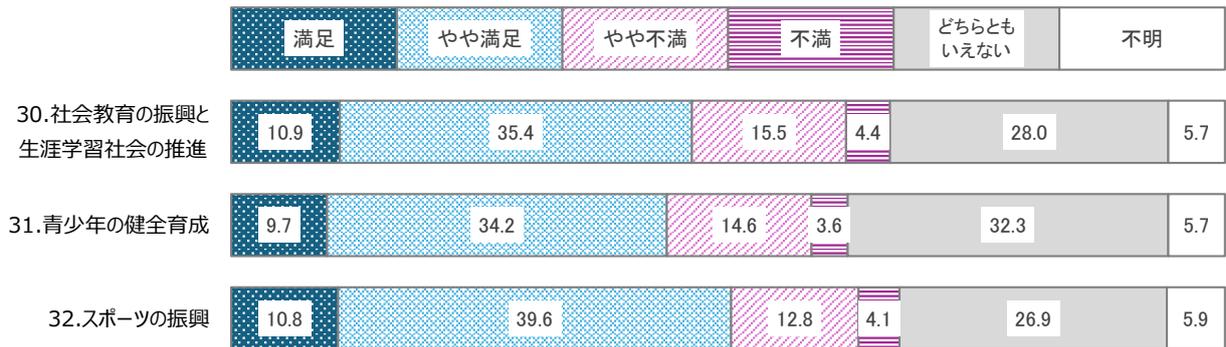


(8)社会教育分野

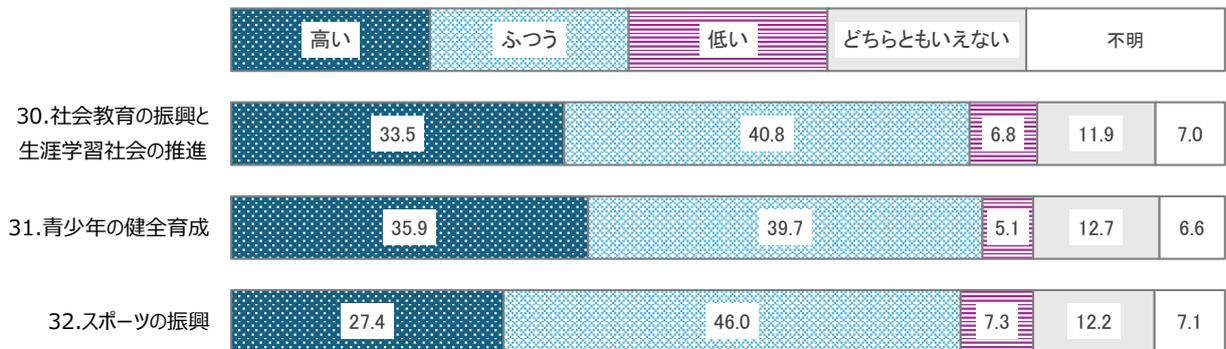
満足度では、「32.スポーツの振興」で「満足」が10.8%、「やや満足」が39.6%で合計すると半数あまりとなっています。「30.社会教育の振興と生涯学習社会の推進」も満足度の合計で過半数となるなど、いずれの項目も「どちらともいえない」が高いことを考えると満足度は高くなっています。

重要度では「31.青少年の健全育成」が「高い」が35.9%で最も高くなっています。「30.社会教育の振興と生涯学習社会の推進」も「高い」が33.5%となっています。

図表 31：社会教育分野・満足度（単位：％）



図表 32：社会教育分野・重要度（単位：％）

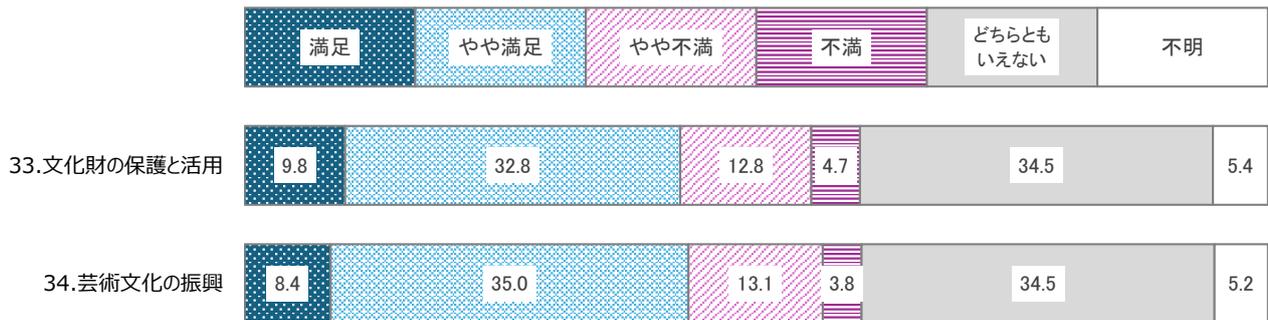


(9)芸術・文化分野

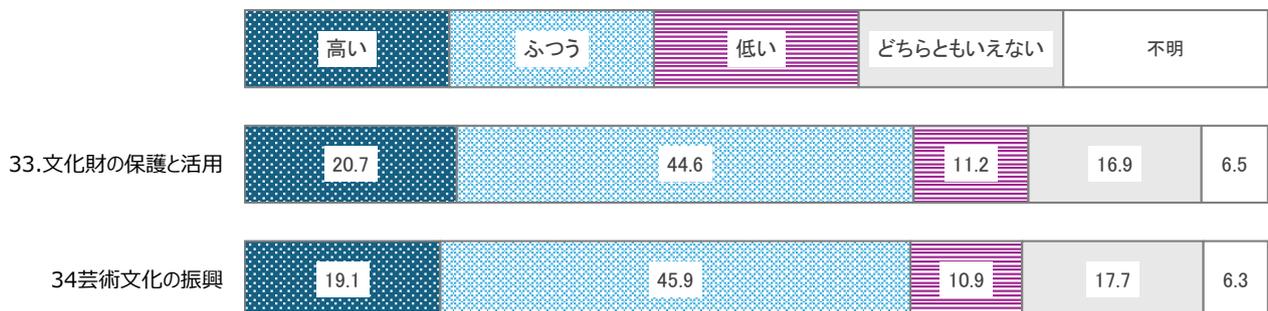
満足度は、2項目とも「やや満足」と「どちらともいえない」が3割余りで高くなっています。「満足」と「やや満足」の合計は、「やや不満」と「不満」より高く、満足度は高くなっています。

重要度でも2項目とも「高い」が2割程度と共通しています。

図表 33：芸術・文化分野・満足度（単位：％）



図表 34：芸術・文化分野・重要度（単位：％）



(10) 人権分野

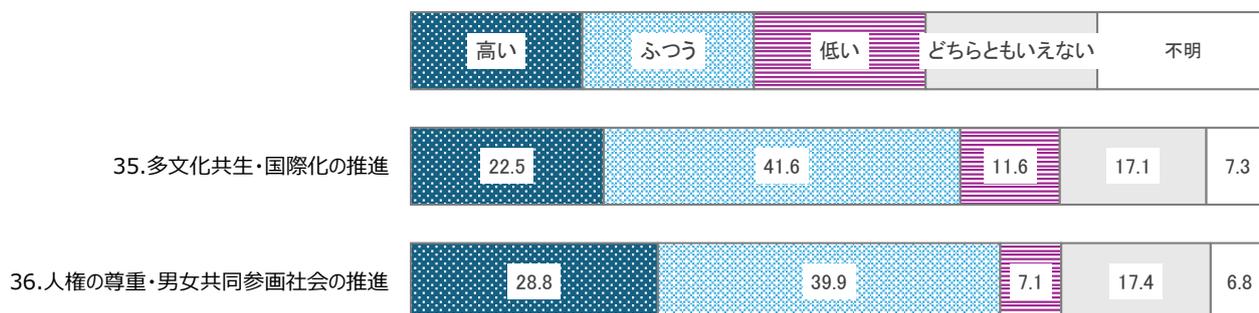
満足度は、2項目とも「どちらともいえない」が3割余りで最も高く、次いで「やや満足」となっています。

重要度では「36.人権の尊重・男女共同参画社会の推進」で「高い」が28.8%と高くなっています。

図表 35：人権分野・満足度（単位：％）



図表 36：人権分野・重要度（単位：％）

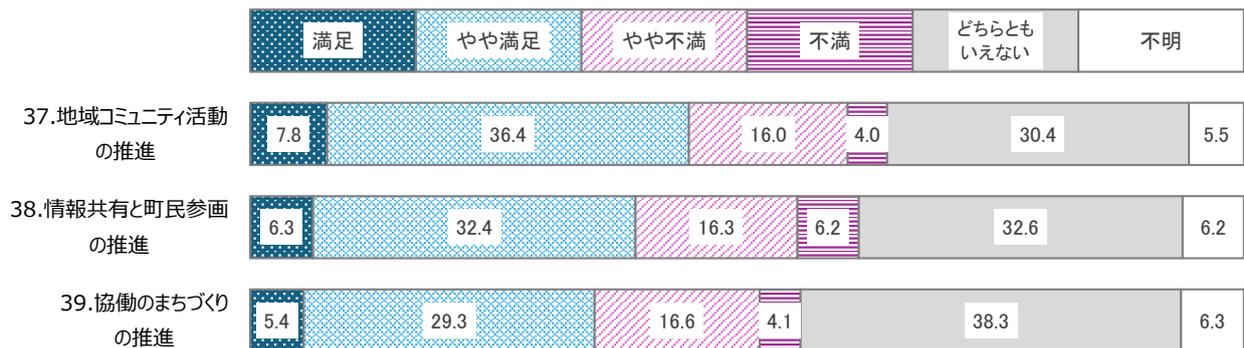


(11) 住民協働分野

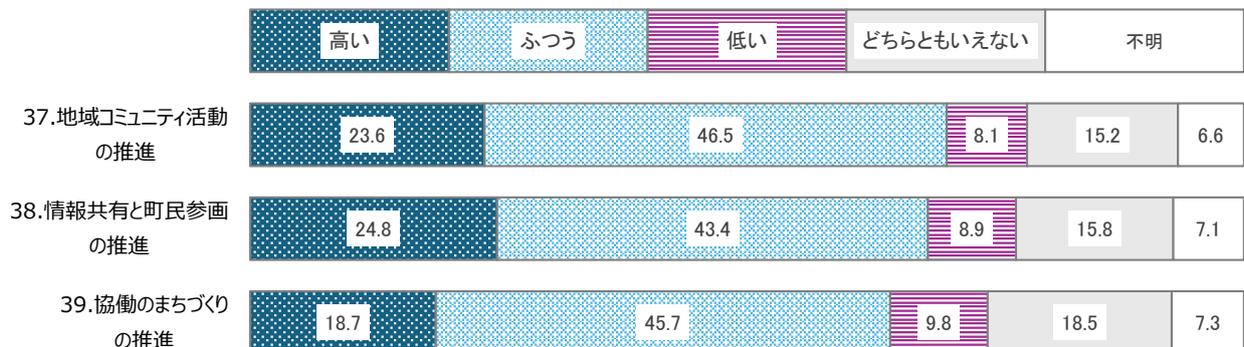
満足度は、3項目とも「やや満足」が3割前後と高くなっています。また「どちらともいえない」もやや高く、この項目が高い項目ほど満足度が低くなっています。

重要度では「38.情報共有と町民参画の推進」で「高い」が24.8%と高くなっています。

図表 37：住民協働分野・満足度（単位：％）



図表 38：住民協働分野・重要度（単位：％）

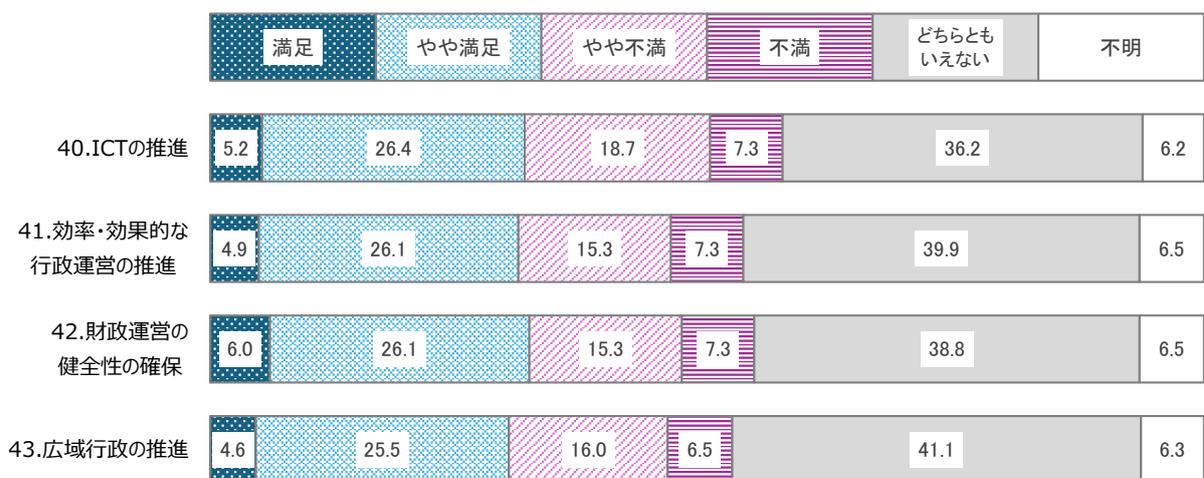


(12) 行財政分野

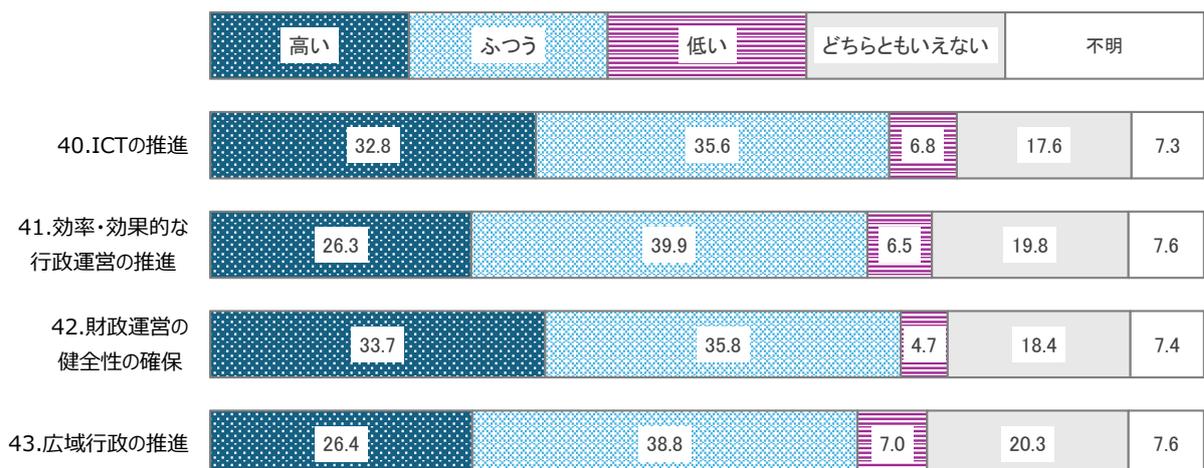
満足度は、4項目とも「どちらともいえない」が3割余りで最も高く、次いで「やや満足」となっています。

重要度では、いずれも「ふつう」が最も高くなっています。「高い」が最も高いのは「42. 財政運営の健全性の確保」で33.7%となっています。

図表 39：行財政分野・満足度（単位：％）



図表 40：行財政分野・重要度（単位：％）

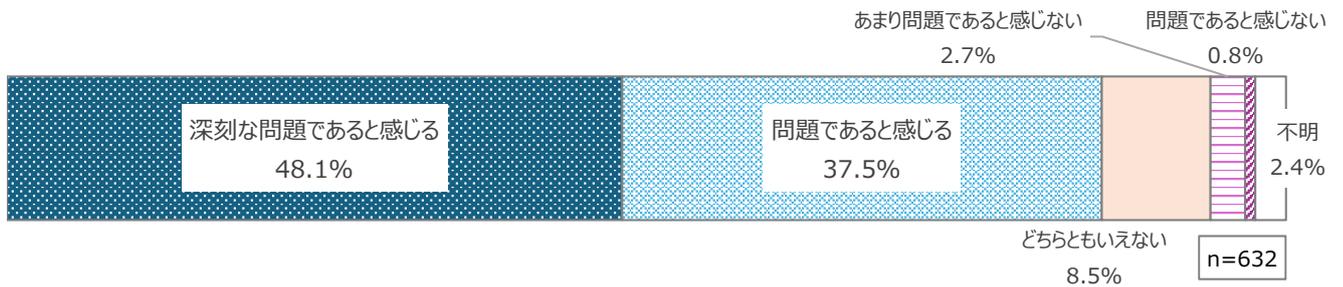


5.人口減少・高齢化対策について

(1)人口減少について

人口減少について「深刻な問題であると感じる」が48.1%、「問題であると感じる」が37.5%となっており、合計85%以上が問題であると感じています。これに対して「あまり問題であると感じない」は2.7%、「問題であると感じない」は0.8%で、問題と感じていないのは3.5%と低くなっています。

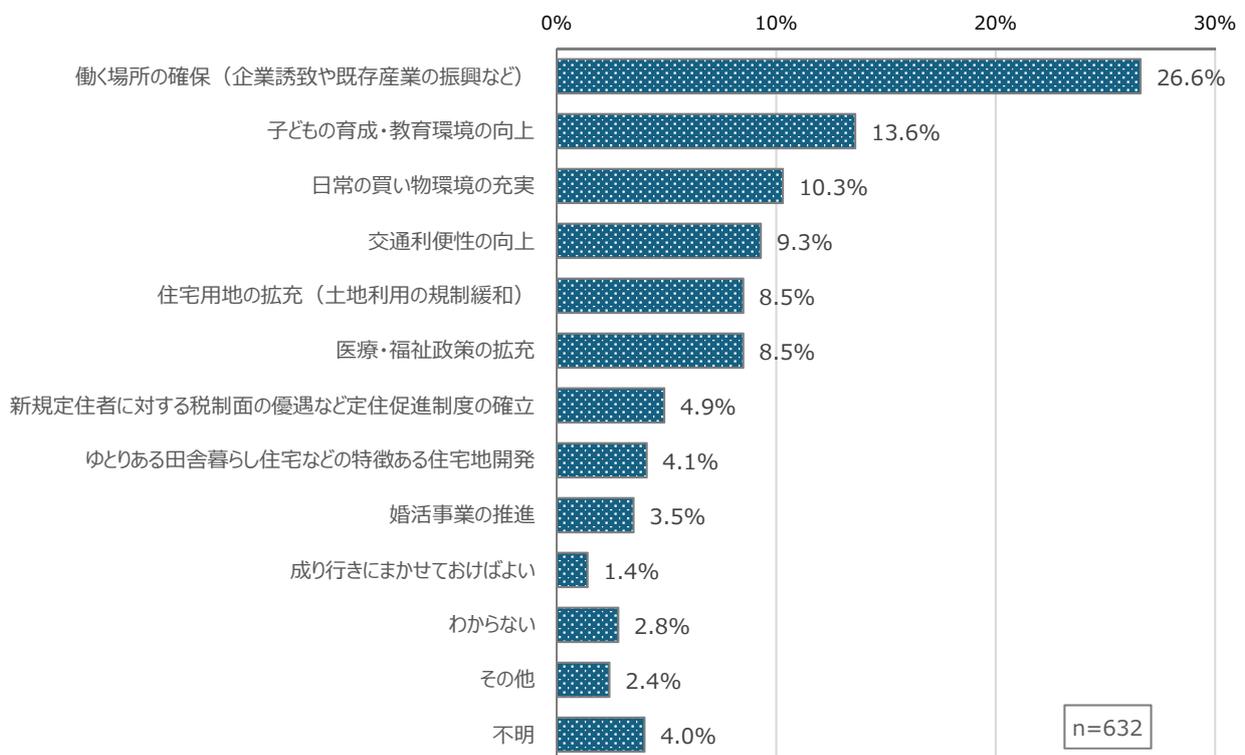
図表 41：問 10 あなたは、人口が減少することについて、問題であると感じますか



(2)人口対策について

人口対策については「働く場所の確保」が26.6%で最も高く、次いで「子どもの育成・教育環境の向上」の13.6%が続いています。

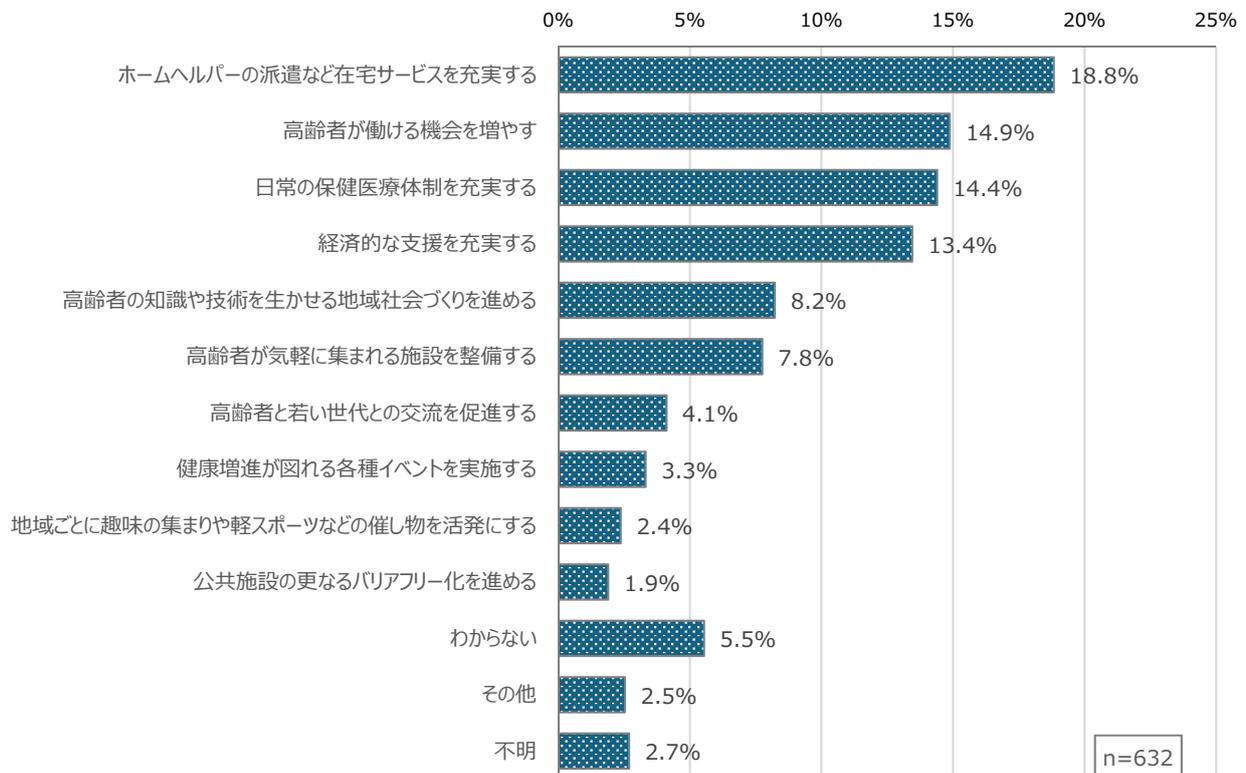
図表 42：問 11 邑楽町では、今後、町の人口対策をどのようにしたら良いと思いますか



(3)高齡化対策

「ホームヘルパーの派遣など在宅サービスを充実する」が18.8%で最も高く、次いで「高齢者が働ける機会を増やす」(14.9%)、「日常の保健医療体制を充実する」(14.4%)が続いています。

図表 43：問 12 呂楽町では、高齢者人口が年々増加しています。あなたは今後どのような対策に力を入れるのがよいとお考えですか

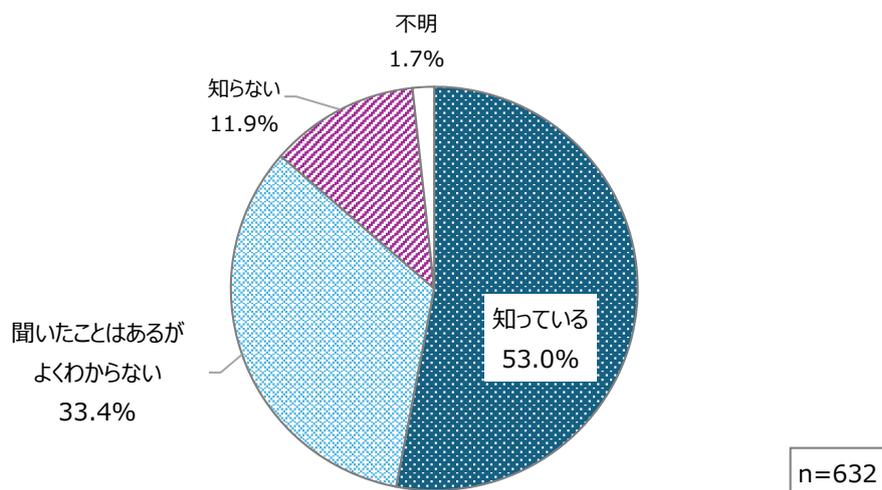


6.SDGsの取り組みについて

(1)SDGsの認知

「知っている」が53.0%、「聞いたことはあるがよくわからない」が33.4%となっています。

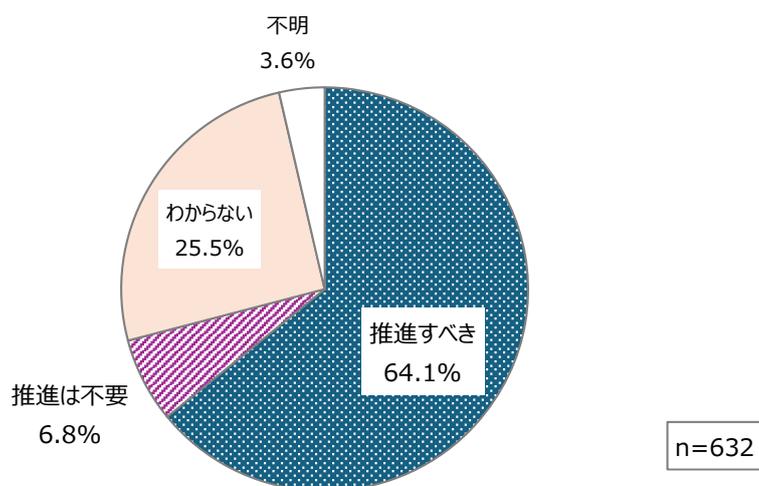
図表 44：問13 あなたは、SDGs（エスディーゼーズ）について知っていますか



(2)邑楽町のSDGs推進について

「推進すべき」が64.1%で高く、「推進は不要」は6.8%と低くなっています。ただし「わからない」が25.5%と1/4を超えています。

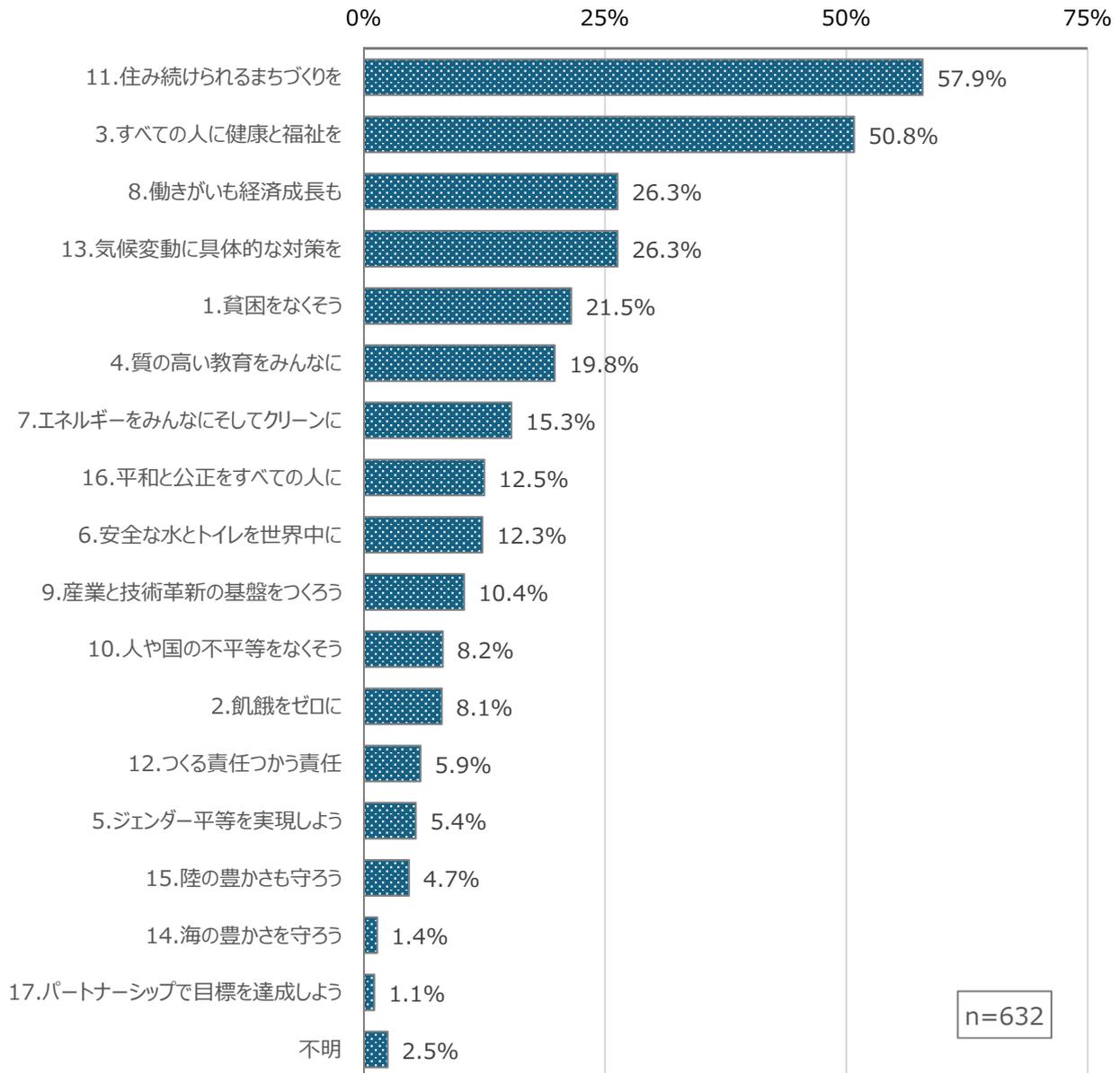
図表 45：問14 あなたは、邑楽町がSDGsに関する取り組みを推進すべきだと思いますか



(3)SDGs の 17 のゴールのうち優先すべきもの

SDGs の 17 のゴールのうち、優先すべきものを 3 つまで選んでもらっています。その結果をみると「11.住み続けられるまちづくりを」が 57.9%で最も高く、次いで「3.すべての人に健康と福祉を」が 50.8%となっています。

図表 46：問 15 あなたは、SDGs の 17 のゴールのうち、邑楽町が重点的に取り組むべきゴールは何だと思いますか

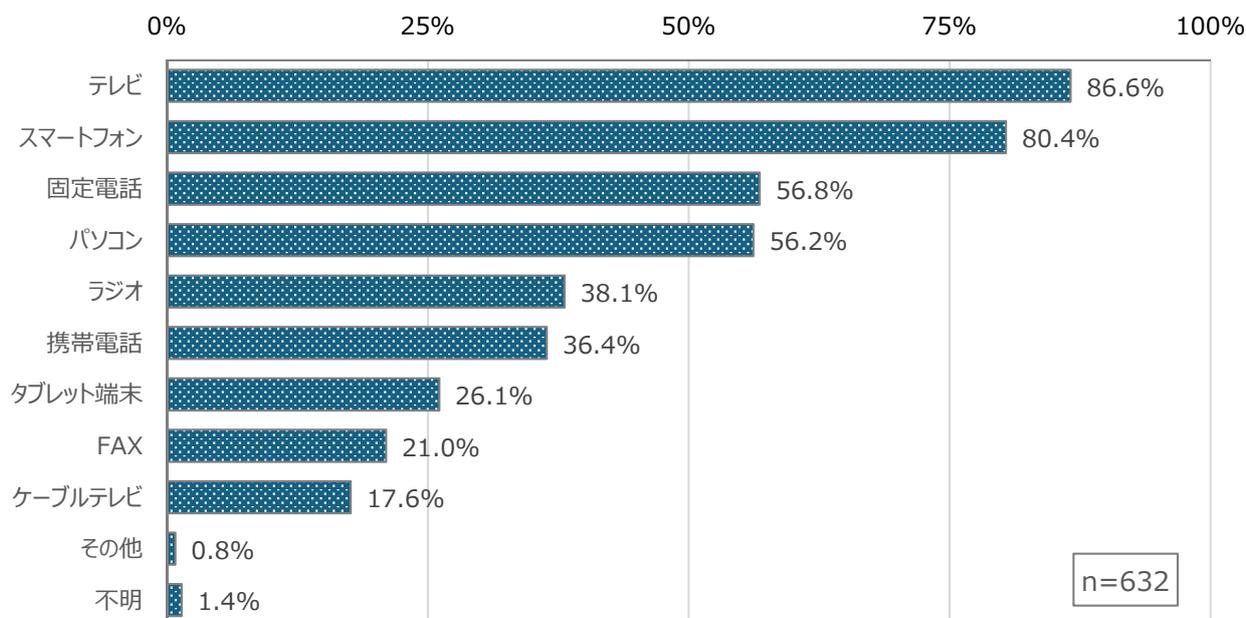


7. ICTの利活用について

(1) 情報通信機器の利用状況

「テレビ」が86.6%で最も高く、次いで「スマートフォン」の80.4%となっています。「固定電話」(56.8%) や「パソコン」(56.2%) も過半数で比較的高くなっています。

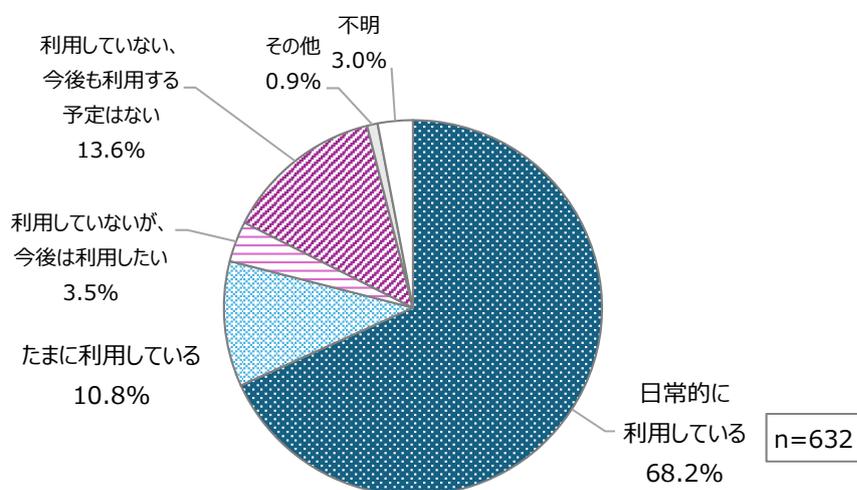
図表 47：問 16 あなたが利用している情報通信機器の利用状況についておききします



(2) インターネットの利用状況

「日常的に利用している」が68.2%で高くなっています。「たまに利用している」の10.8%を加えると、8割近くが利用しています。一方で「利用していない、今後も利用する予定はない」も13.6%と1割を超えています。

図表 48：問 17 あなたのインターネットの利用状況についておききします

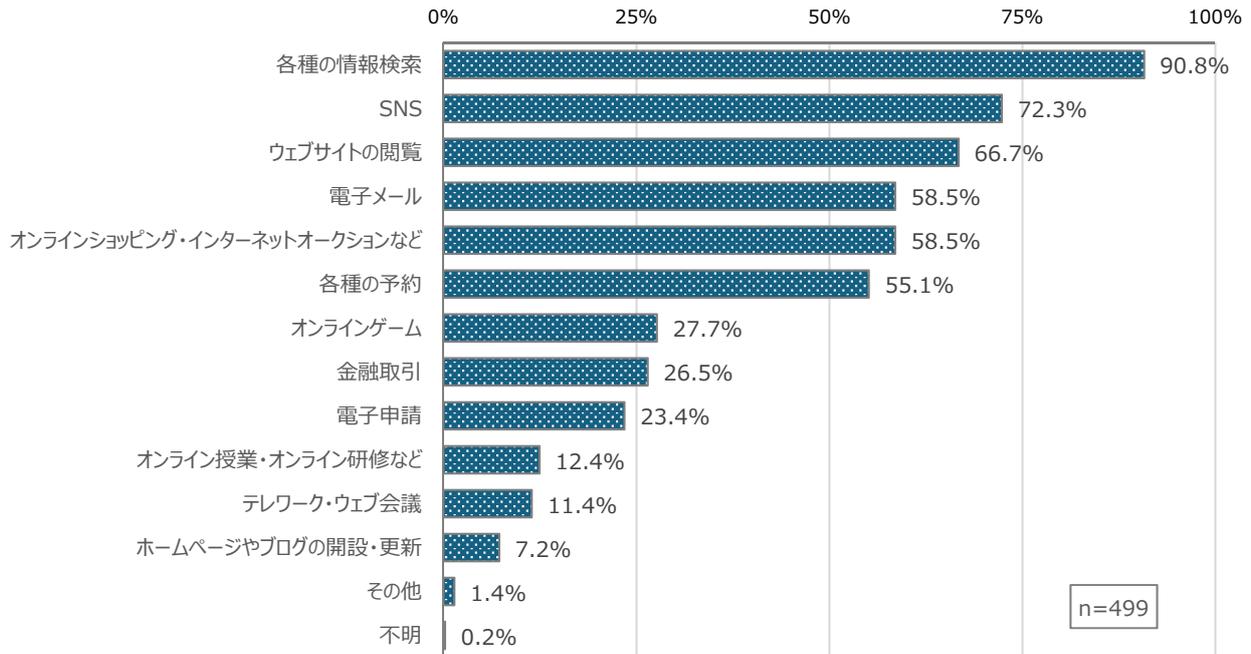


(3) インターネットの利用目的

インターネットを「日常的に利用している」、「たまに利用している」と回答した 499 人を対象に利用目的を質問しています。その結果をみると「各種情報の検索」が 90.8%で最も高く、次いで「SNS」(72.3%)、「ウェブサイトの閲覧」(66.7%)が続いています。

図表 49：問 18 問 17 でインターネットを利用していると答えた方におききします。

インターネットの利用目的は何ですか

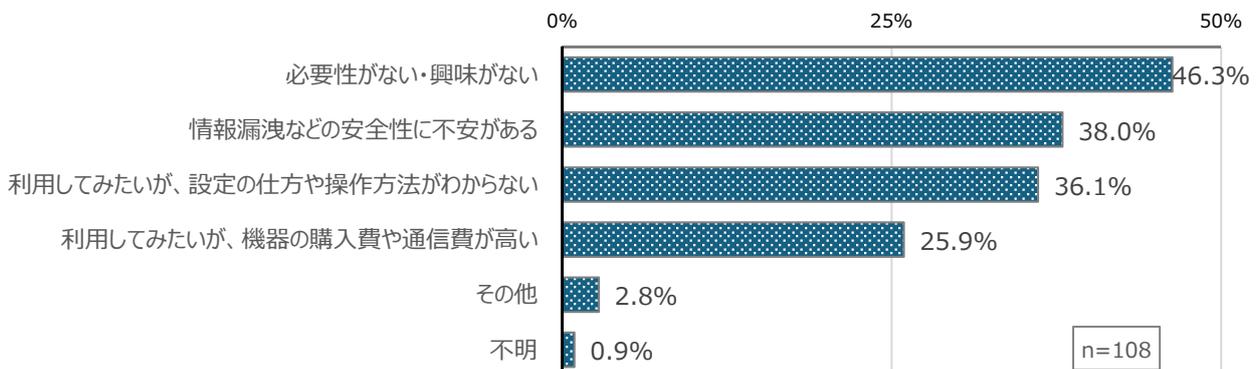


(4) インターネットを利用しない理由

インターネットを「利用していないが、今後利用したい」、「利用していない、今後も利用する予定はない」と回答した 108 人に理由を質問しています。結果をみると「必要性がない・興味がない」が 46.3%で最も高く、次いで「情報漏洩などの安全性に不安がある」(38.0%)、「利用してみたいが、設定の仕方や操作方法がわからない」(36.1%)が続いています。

図表 50：問 19 問 17 でインターネットを利用しないと答えた方におききします。

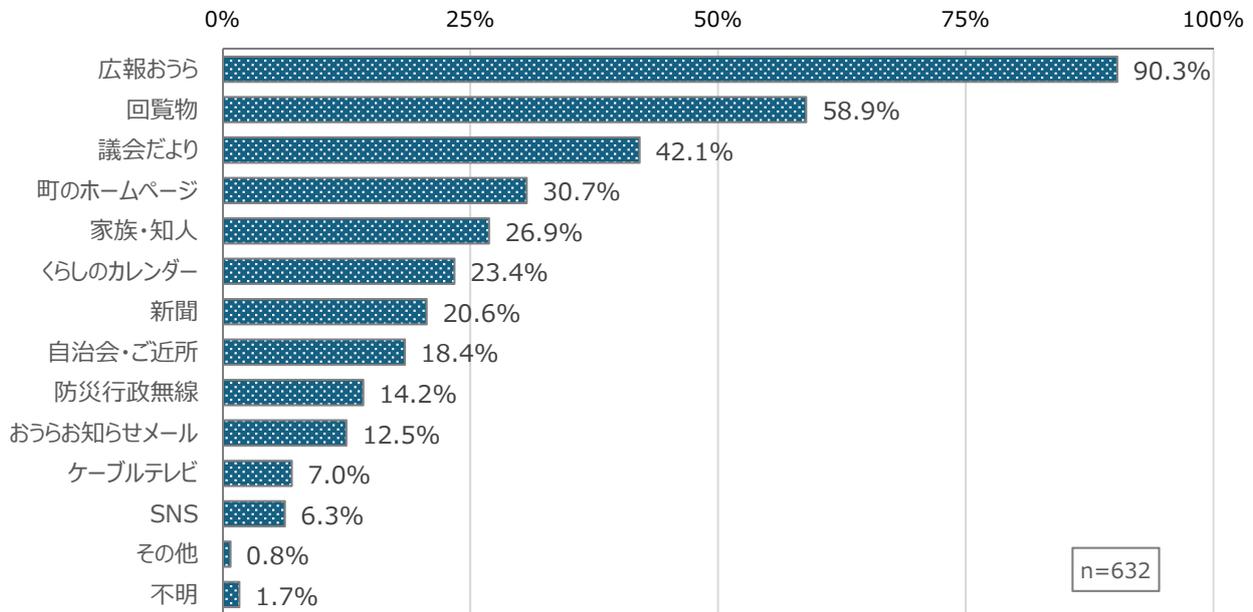
利用しない理由は何ですか



(5) 邑楽町に関する情報収集方法

「広報おうら」が90.3%で最も高く、次いで「回覧物」の58.9%が高く、この2項目が過半数です。「議会だより」(42.1%)や「町のホームページ」(30.7%)も比較的高くなっています。

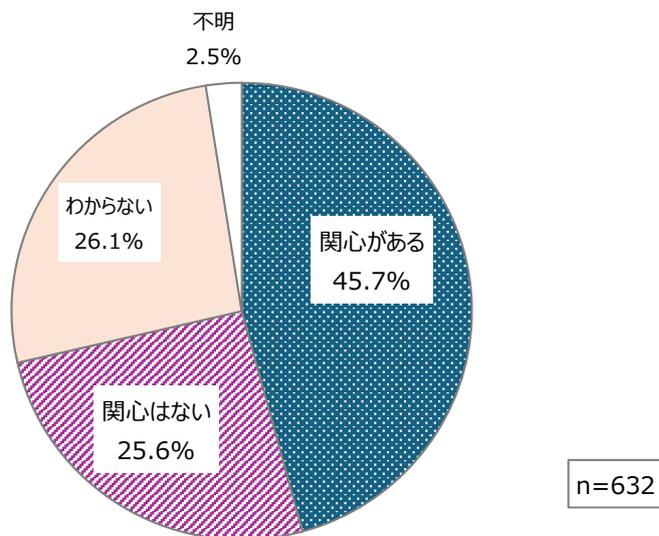
図表 51：問 20 あなたは、邑楽町に関する情報をどのように取得していますか



(6) 邑楽町からの SNS 等を活用した情報提供

「関心がある」が45.7%となっています。これに対して「関心はない」は25.6%と1/4程度となっています。また「わからない」も26.1%となっています。

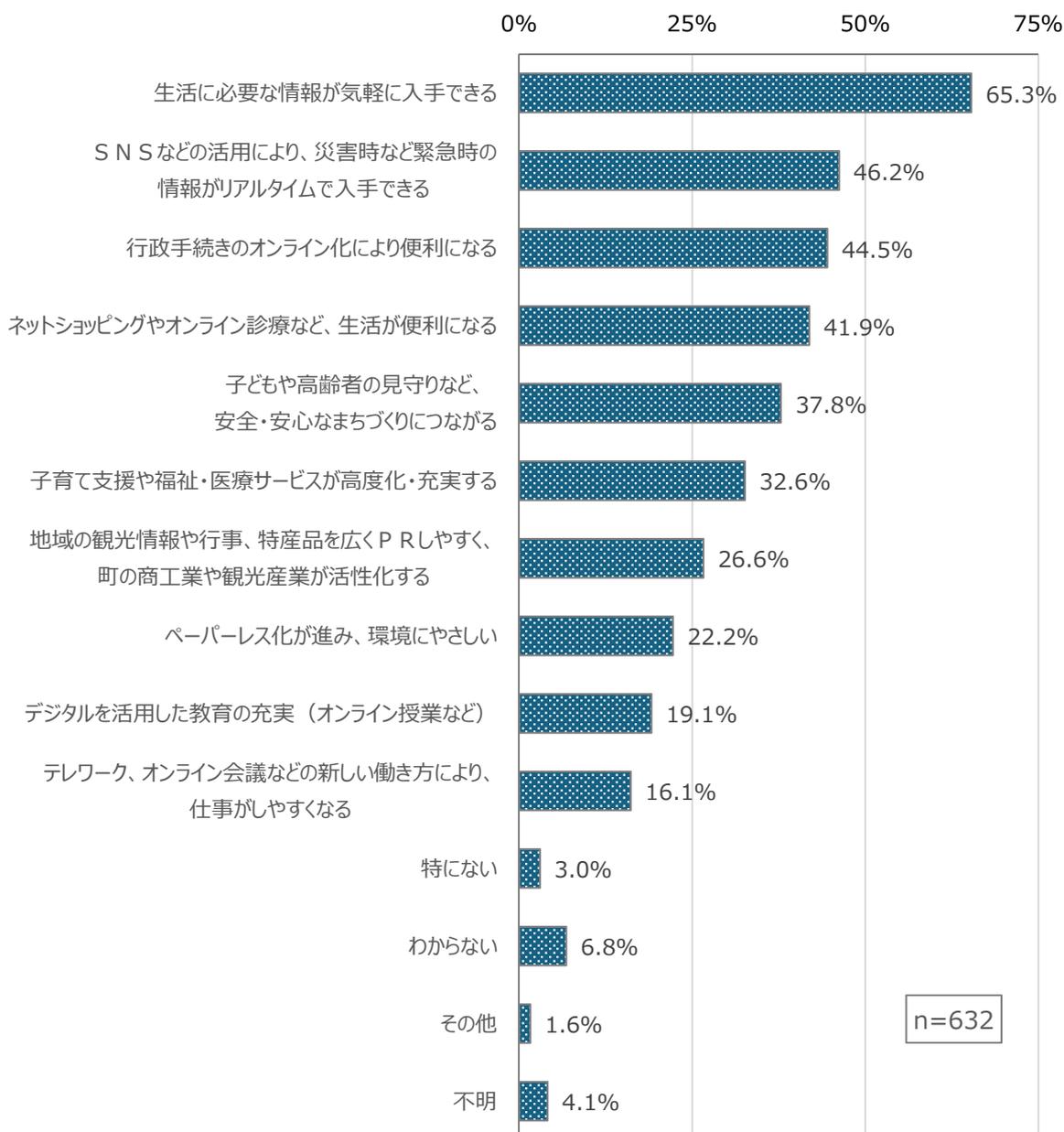
図表 52：問 21 あなたは、SNS 等を活用した邑楽町からの情報提供に関心はありますか



(7)地域社会のデジタル化に期待すること

「生活に必要な情報が気軽に入手できる」が65.3%で最も高く、唯一過半数となっています。次いで「SNSなどの活用により、災害時など緊急時の情報がリアルタイムで入手できる（46.2%）」、「行政手続きのオンライン化により便利になる」（44.5%）、「ネットショッピングやオンライン診療など、生活が便利になる」（41.9%）が上位となっています。

図表 53：問 22 地域社会のデジタル化が進む中で、あなたが期待することは何ですか

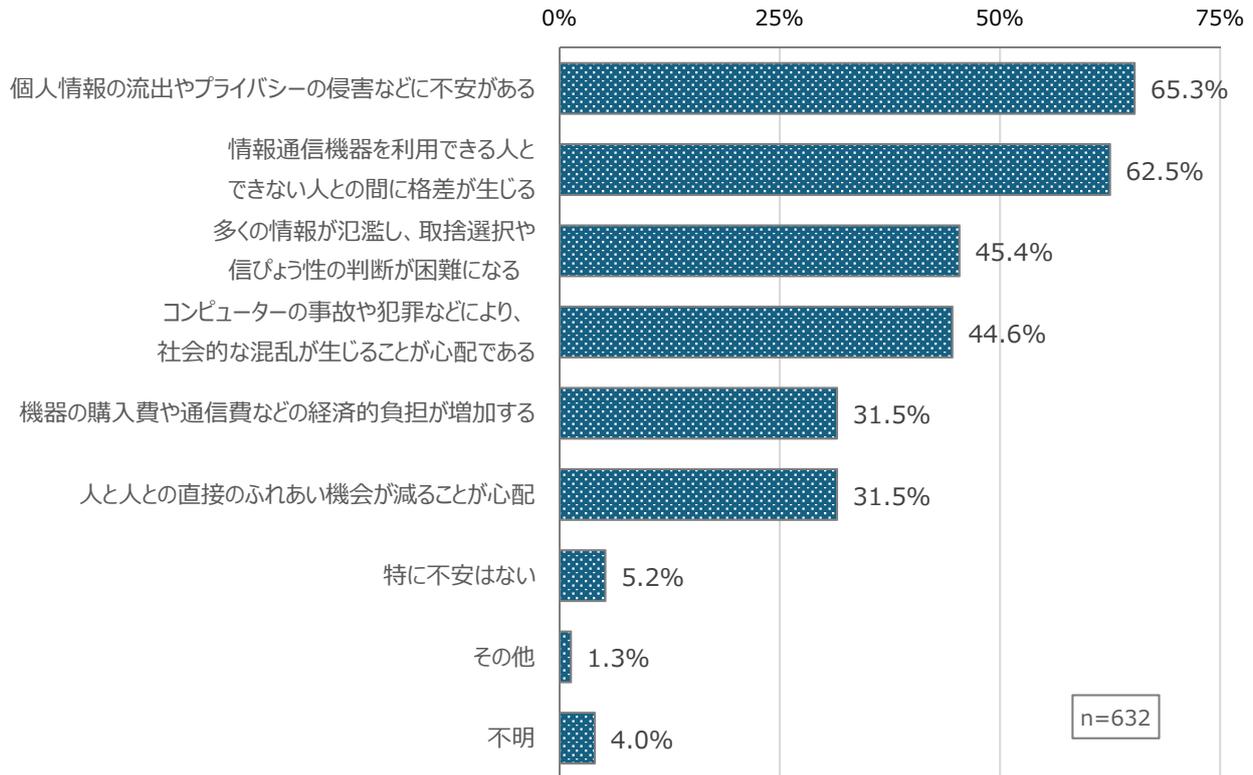


(8)デジタル化の進展で不安に感じること

「個人情報の流出やプライバシーの侵害などに不安がある」(65.3%)、「情報通信機器を利用できる人とできない人の間に格差が生じる」(62.5%)の2項目が高くなっています。

なお「特に不安はない」は5.2%となっており、回答者の多くがデジタル化の進展で不安を感じていることがわかります。

図表 54：問 23 あなたは、デジタル化が進展することによって不安を感じることはありますか

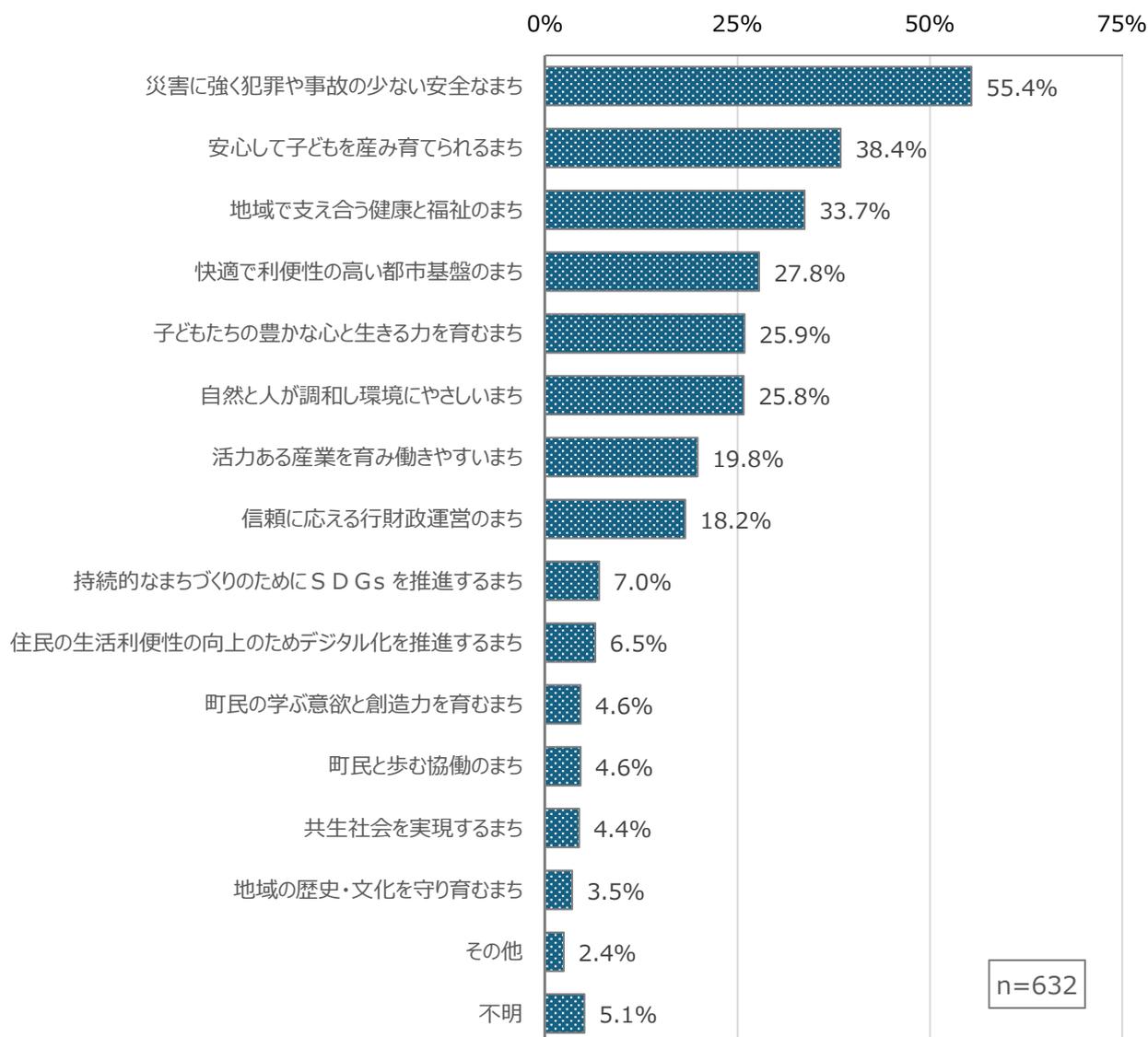


8.これからの邑楽町のまちづくりについて

(1) これからの邑楽町に望むこと

邑楽町に望むことは「災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまち」が 55.4%で唯一過半数となっています。次いで「安心して子どもを産み育てられるまち」(38.4%)、「地域で支え合う健康と福祉のまち」(33.7%)が続いています。

図表 55：問 24 あなたは、これからの邑楽町にどのようなことを期待しますか



(2)力を入れてほしい政策

「保険・医療・福祉の充実」が45.6%で最も高く、次いで「交通機関の充実」(36.6%)、「地震・火災・水害などの防災対策」(29.0%)が上位となっています。

図表 56：問 25 あなたは、次の施策のうち、どれに力を入れてほしいと思いますか

